

器質性精神障害

Organic Brain Syndrome

フィアネス・ゲージ

アメリカ人男性 線路工事の現場監督
親切で粘り強い、責任感の強い人格者。

1848年 工事用のダイナマイトが誤って爆
発。火薬充填用の鉄の棒(1m×直径3c
m)が前頭葉を貫通。

無礼、頑固、移り気、優柔不断、飽きっぽく、

He is no longer Gage.



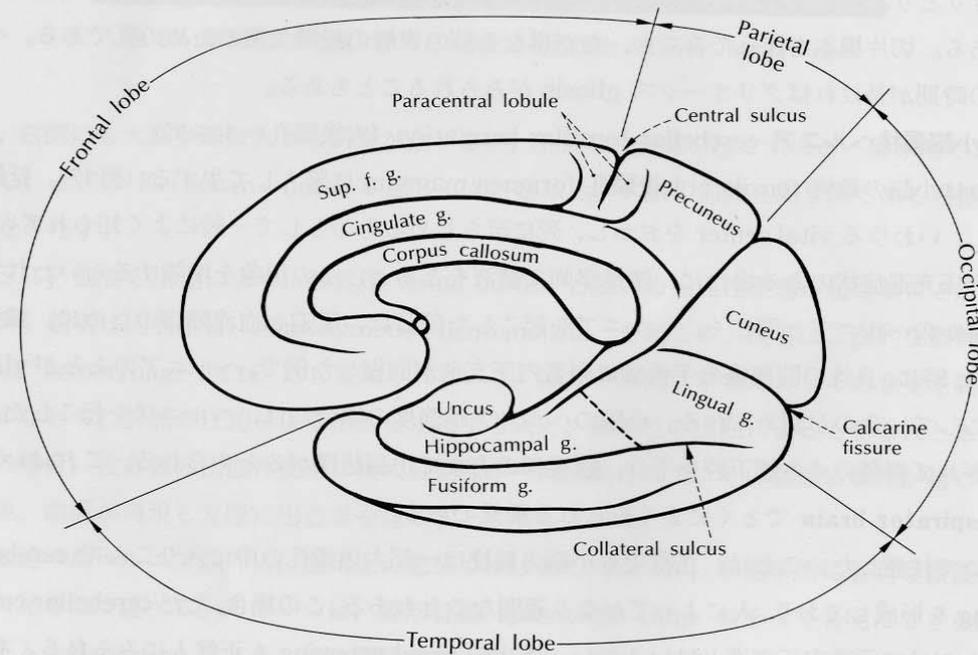
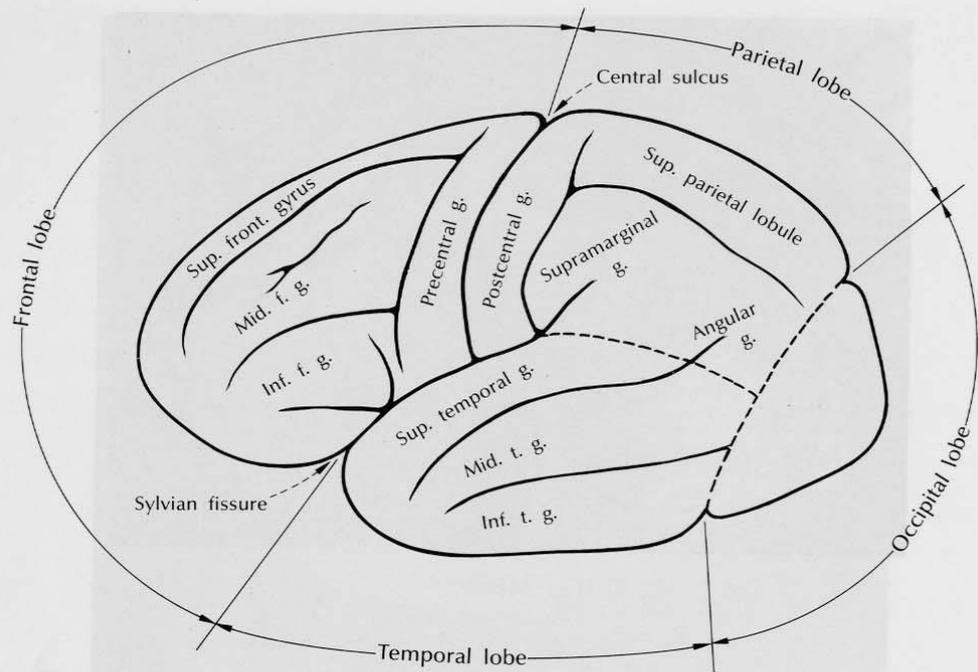
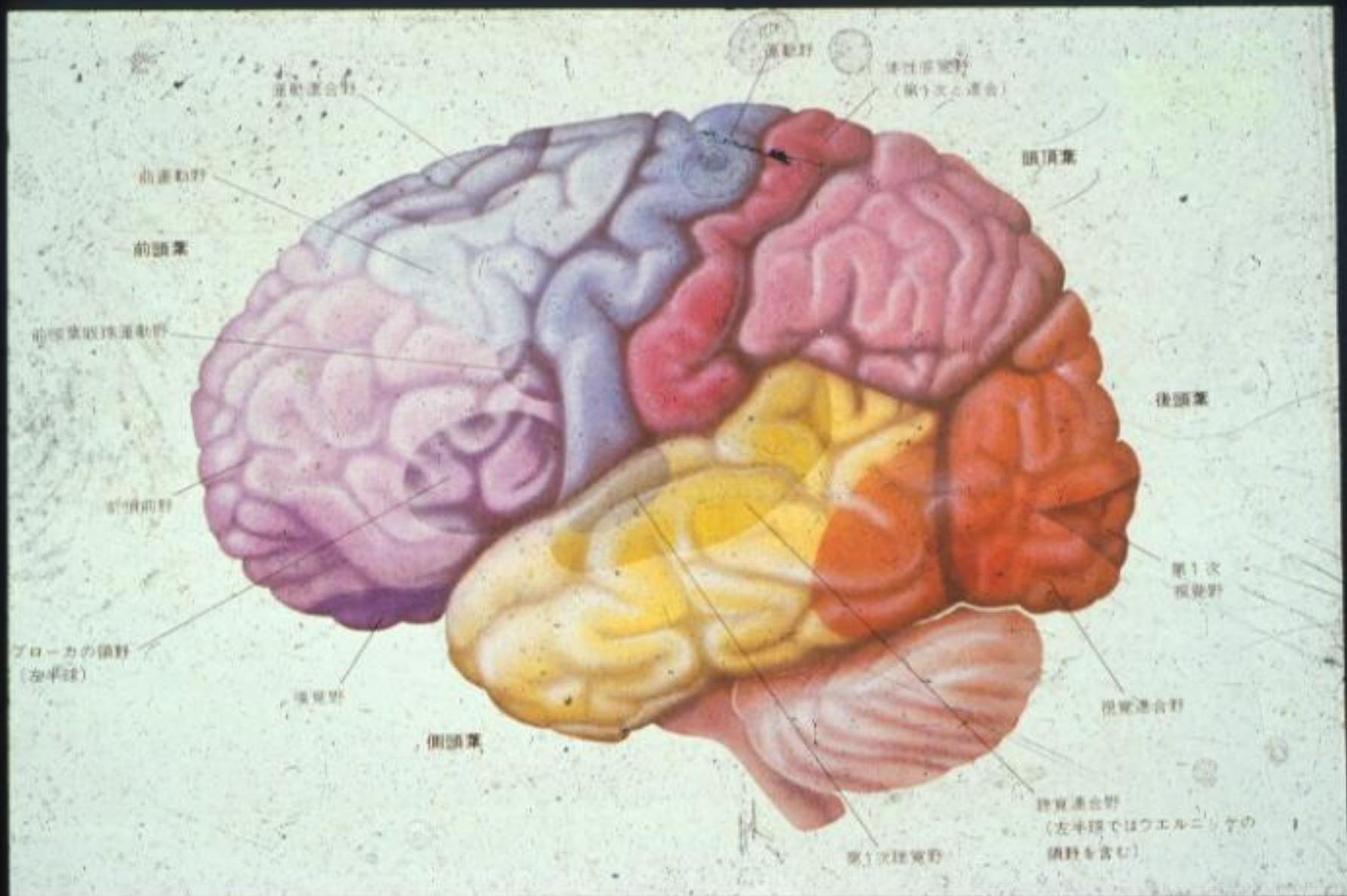
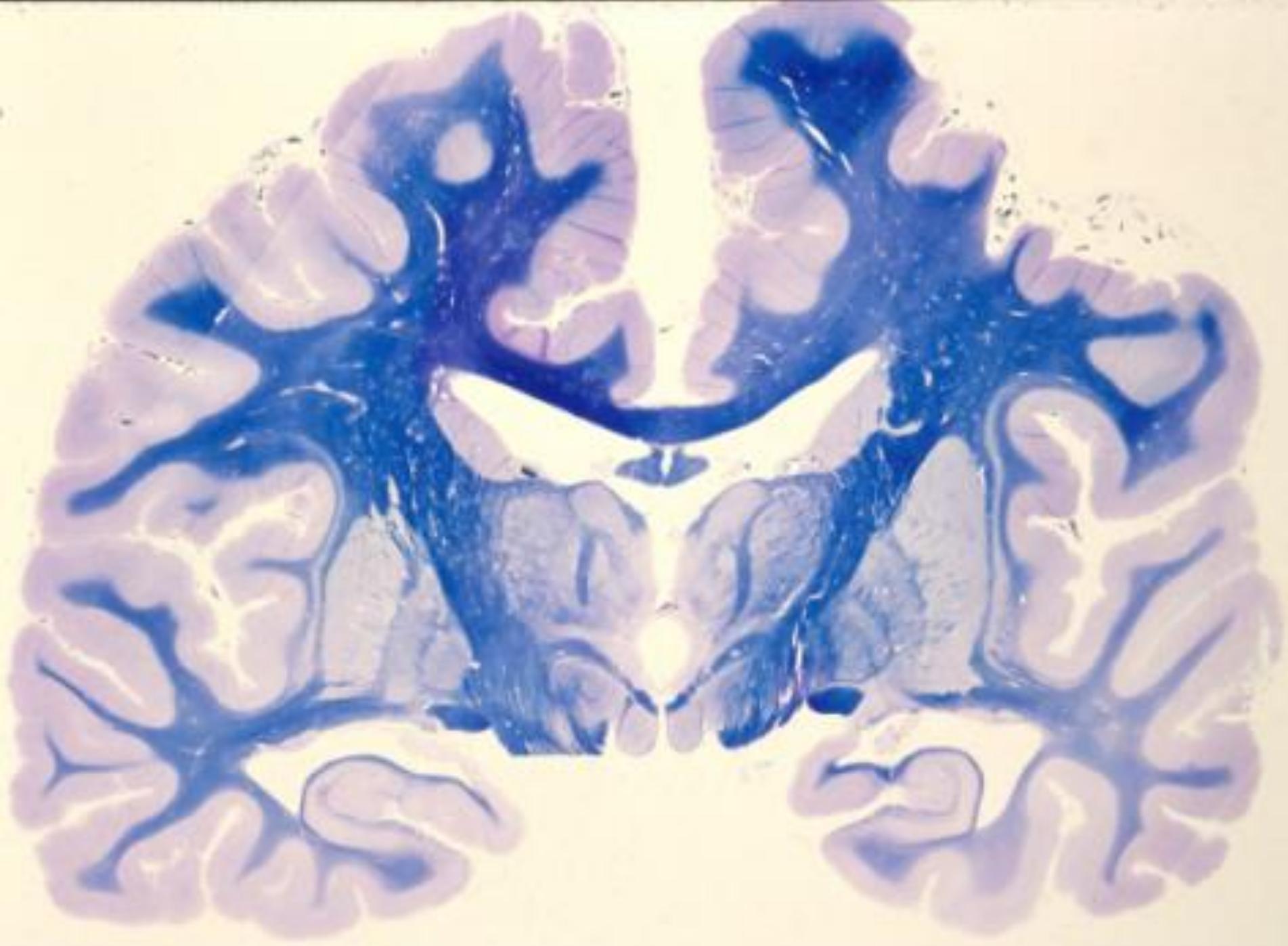


図 18 大脳の gyri と sulci





器質性精神障害とは

1. 意識障害：せん妄
2. 認知症（痴呆）
3. 記憶障害：Korsakoff-Syndrome
4. 他の脳局在症状：
失外套症候群、側頭葉症候群
幻覚、妄想、感情障害

1, 意識障害

Unconsciousness

K.Bonhoeffer

急性外因反応型 (1910/12)

Akute exogene Reaktionstypen

意識障害

せん妄

健忘症候群

急性の身体疾患に共通の精神症状がみられる

譫妄(せんもう)

Delirium

急性の脳障害

意識障害＋精神内界の興奮

夜間せん妄、作業せん妄

術後せん妄、振戦せん妄

せん妄の簡易診断法

Confusion Assessment Methods (CAM)

1. 急性の発症と症状の動揺
2. 注意力の欠如
3. 思考の錯乱
4. 意識レベルの変化

2つ目までは必須項目であり、あとひとつをみたせば診断してよい。

H.H. Wieck

通過症候群

Durchgangs-Syndrom

情動変化、幻覚、妄想

健忘

自発性欠如

意識障害の後(前)に現れる一過性の特異的状态

失語、失行、失認

失語症：Broca失語、Wernicke失語、超皮質性運動失語、超皮質性感覺失語、健忘失語、伝導失語、全失語

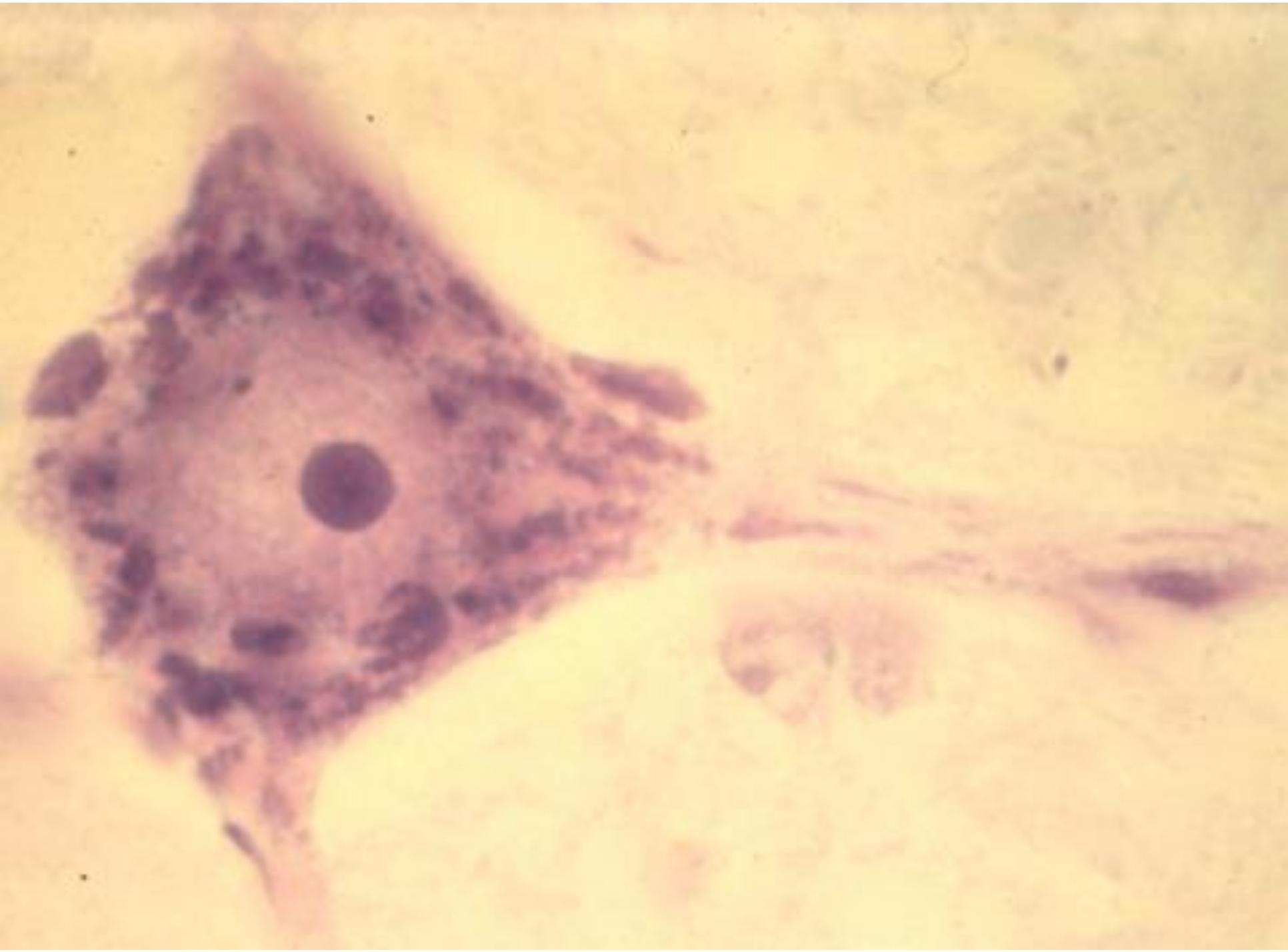
失行：肢節運動失行、觀念運動失行、觀念失行

失認：視覺性失認、聽覺性失認、身體失認

半側空間無視：

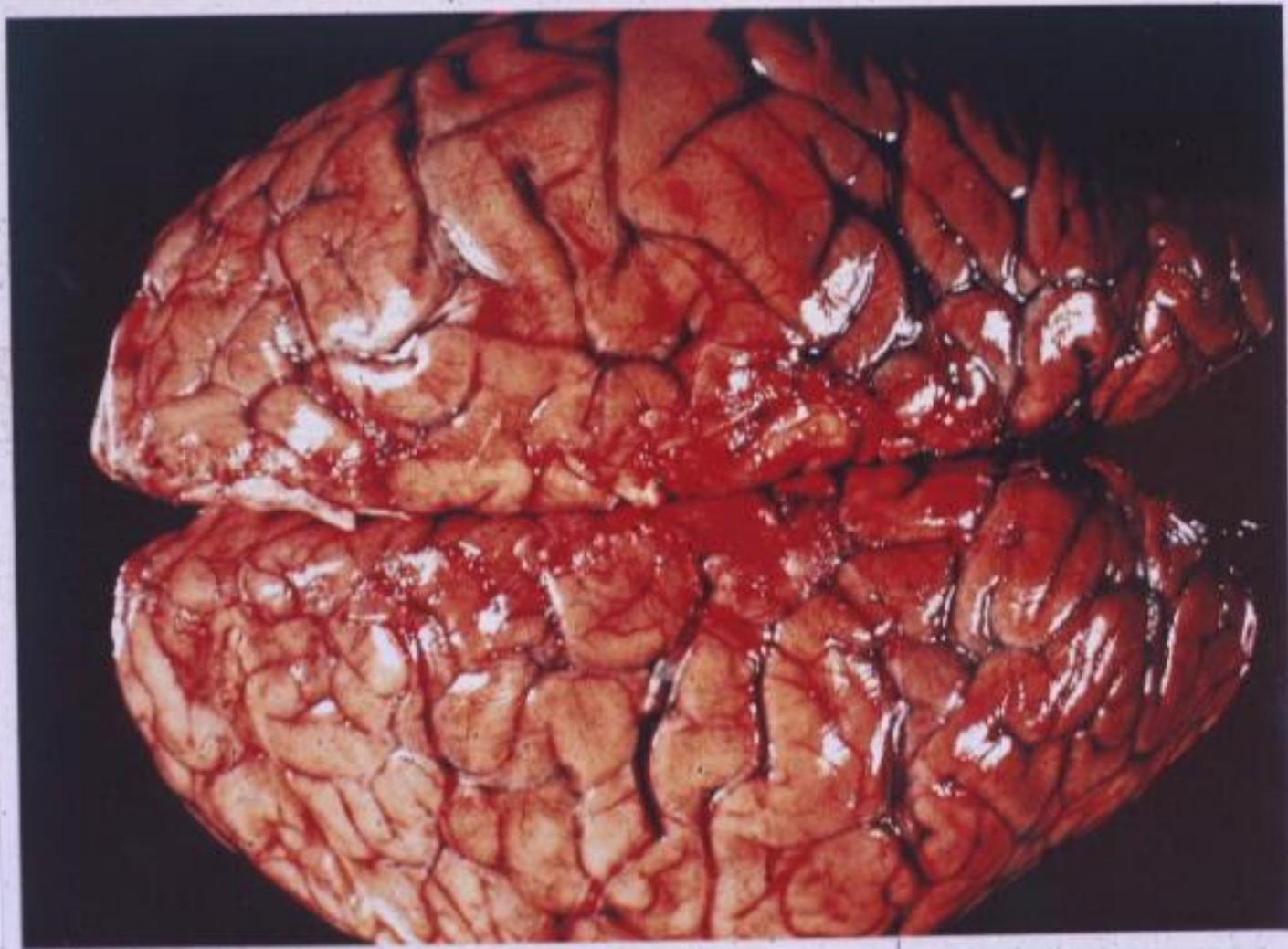
失讀、失書：

失計算：









- ① Flattening of gyri and narrowing of sulci
- ② Cingulate herniation
- ③ Ventricular shift
- ④ Uncal herniation
- ⑤ Kernohan's notch
- ⑥ Cerebellar herniation
- ⑦ Pontine hemorrhage

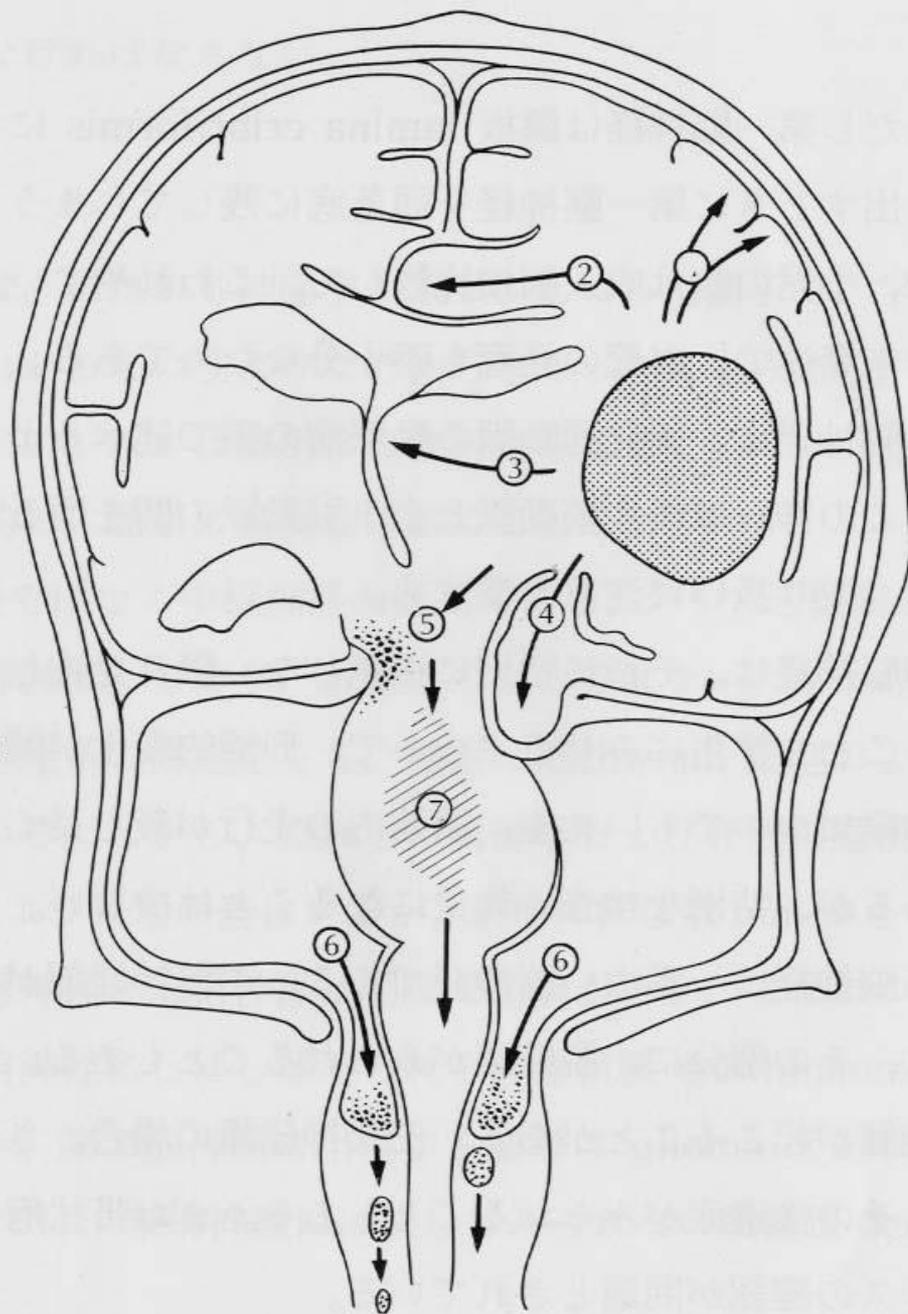
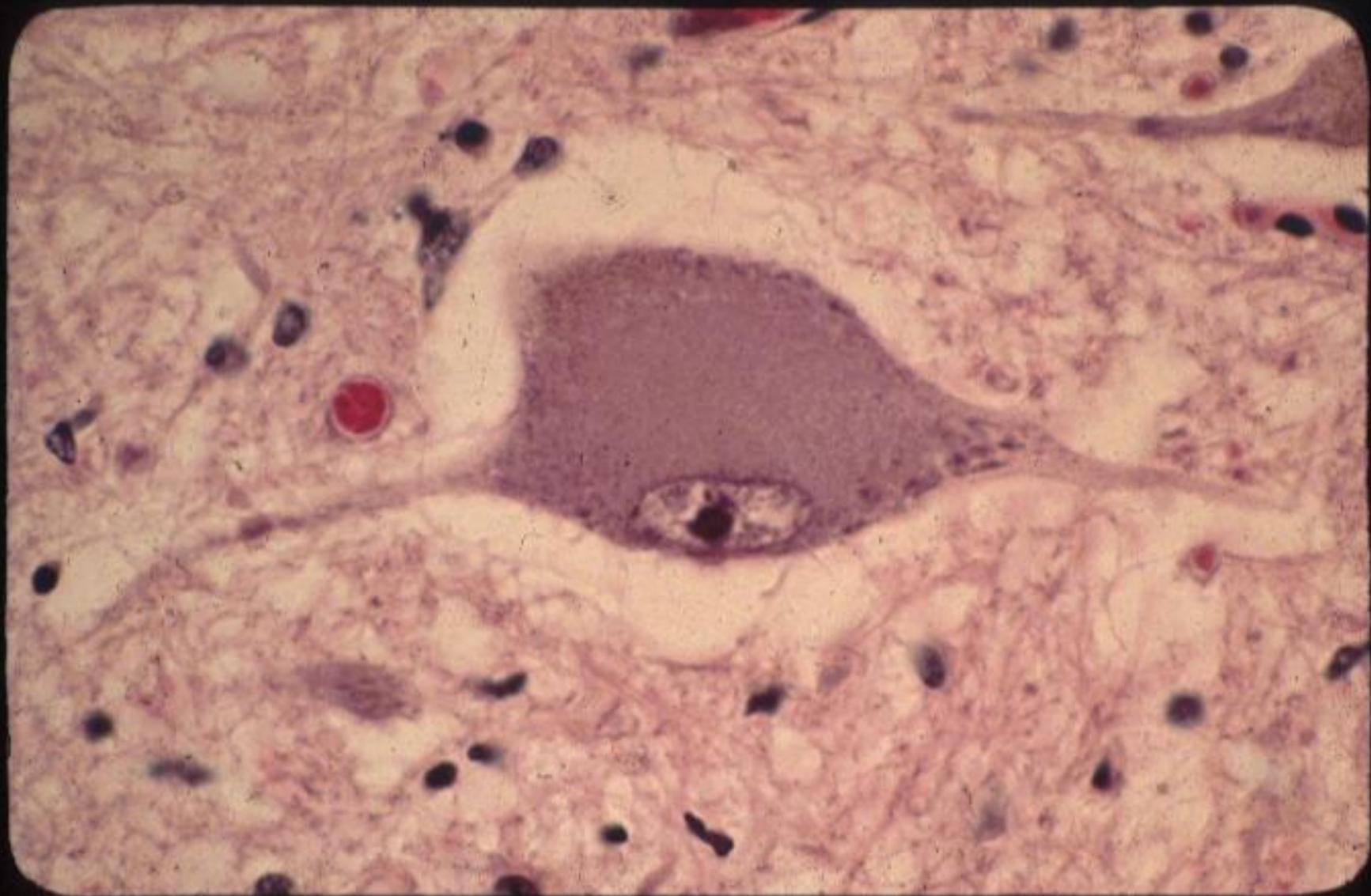
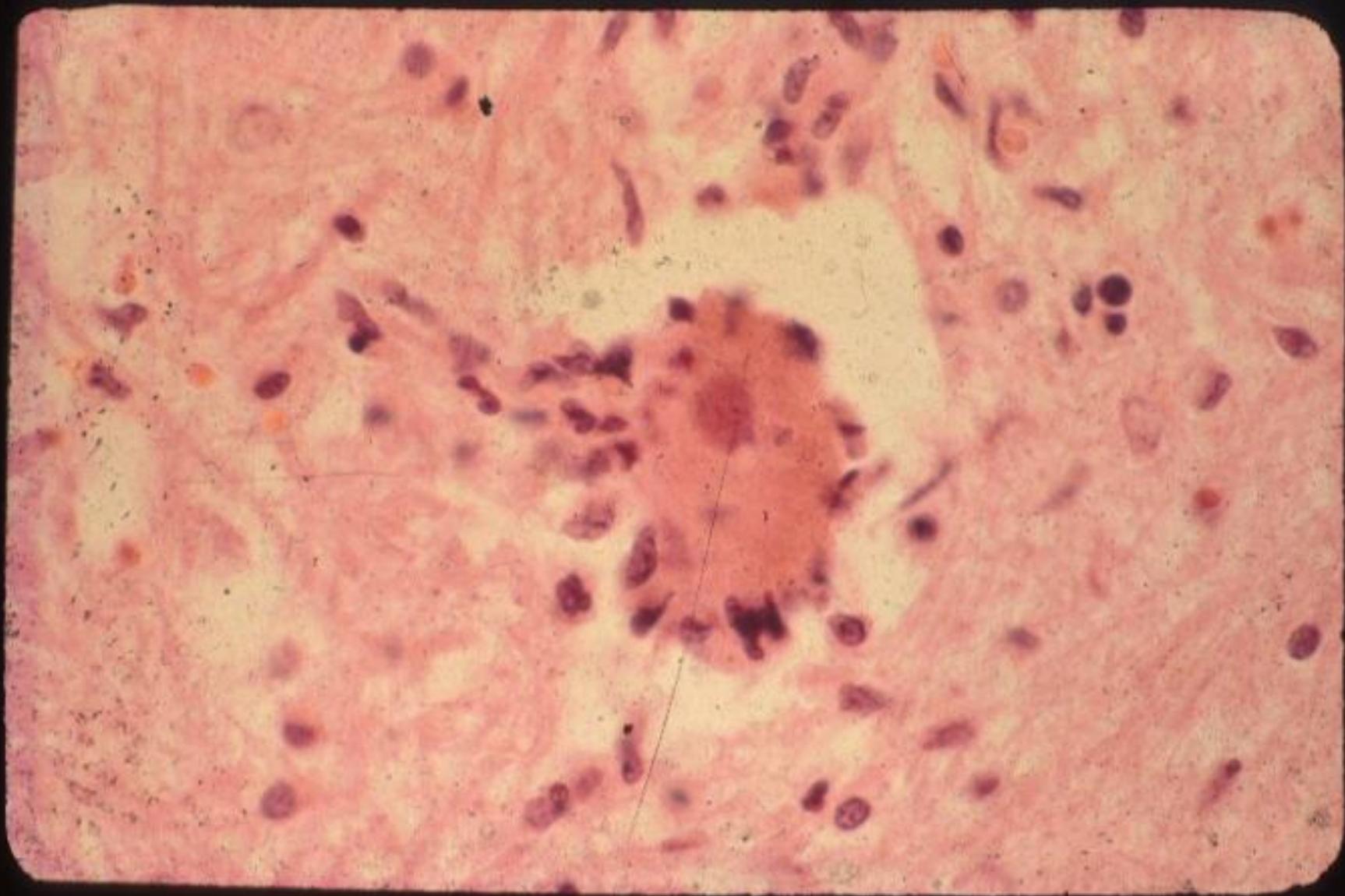


图 11 頭蓋内圧亢進

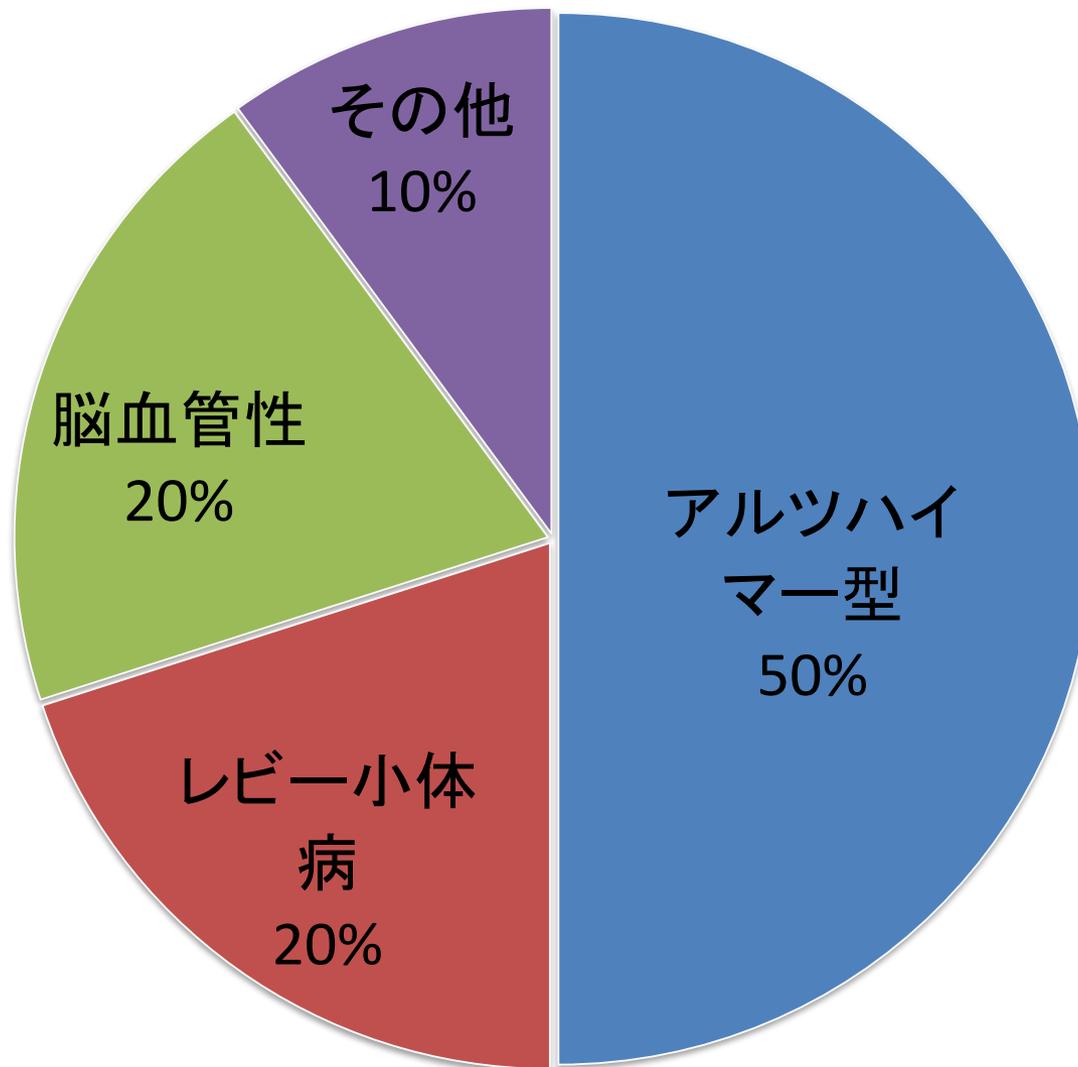


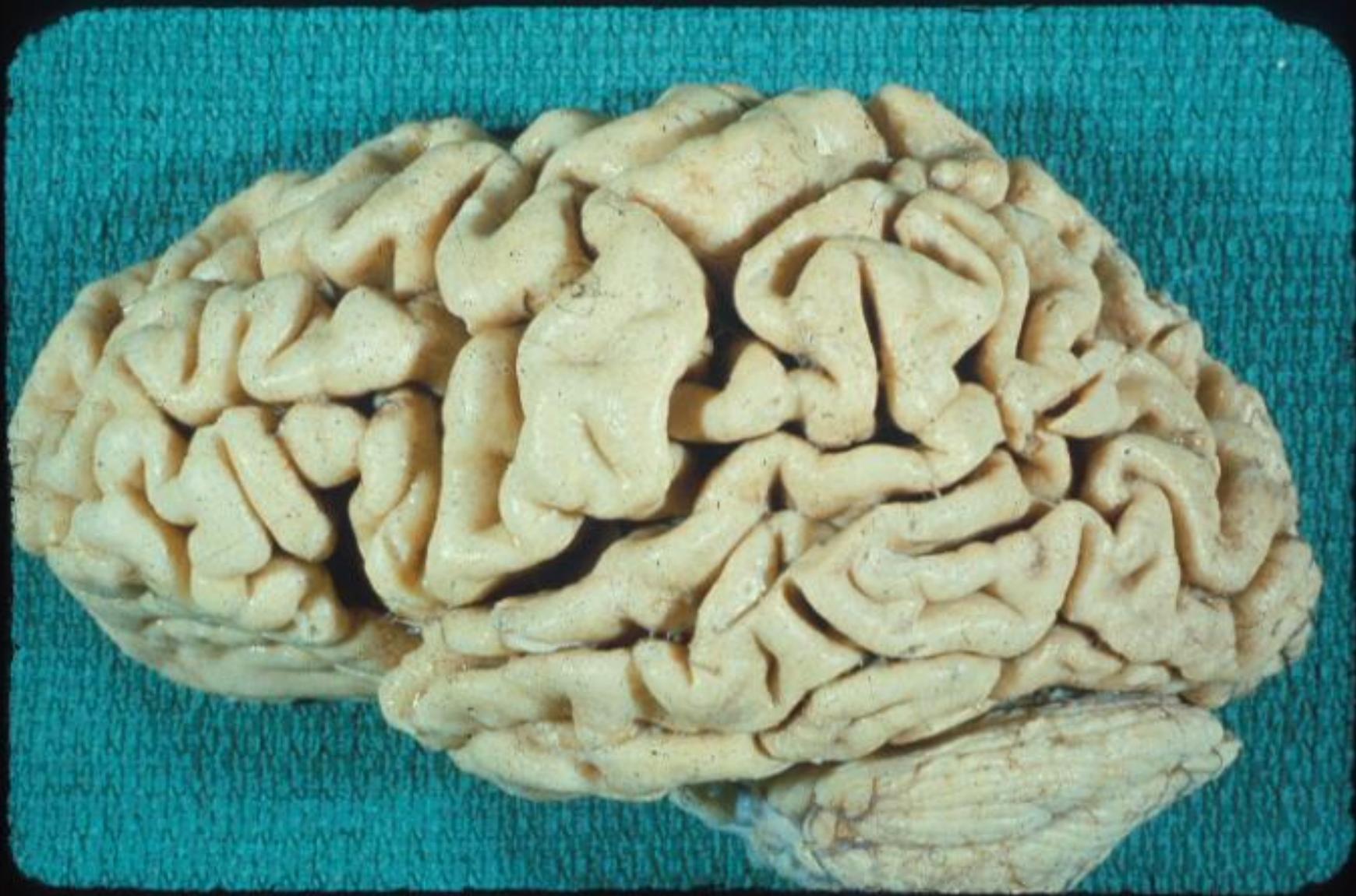


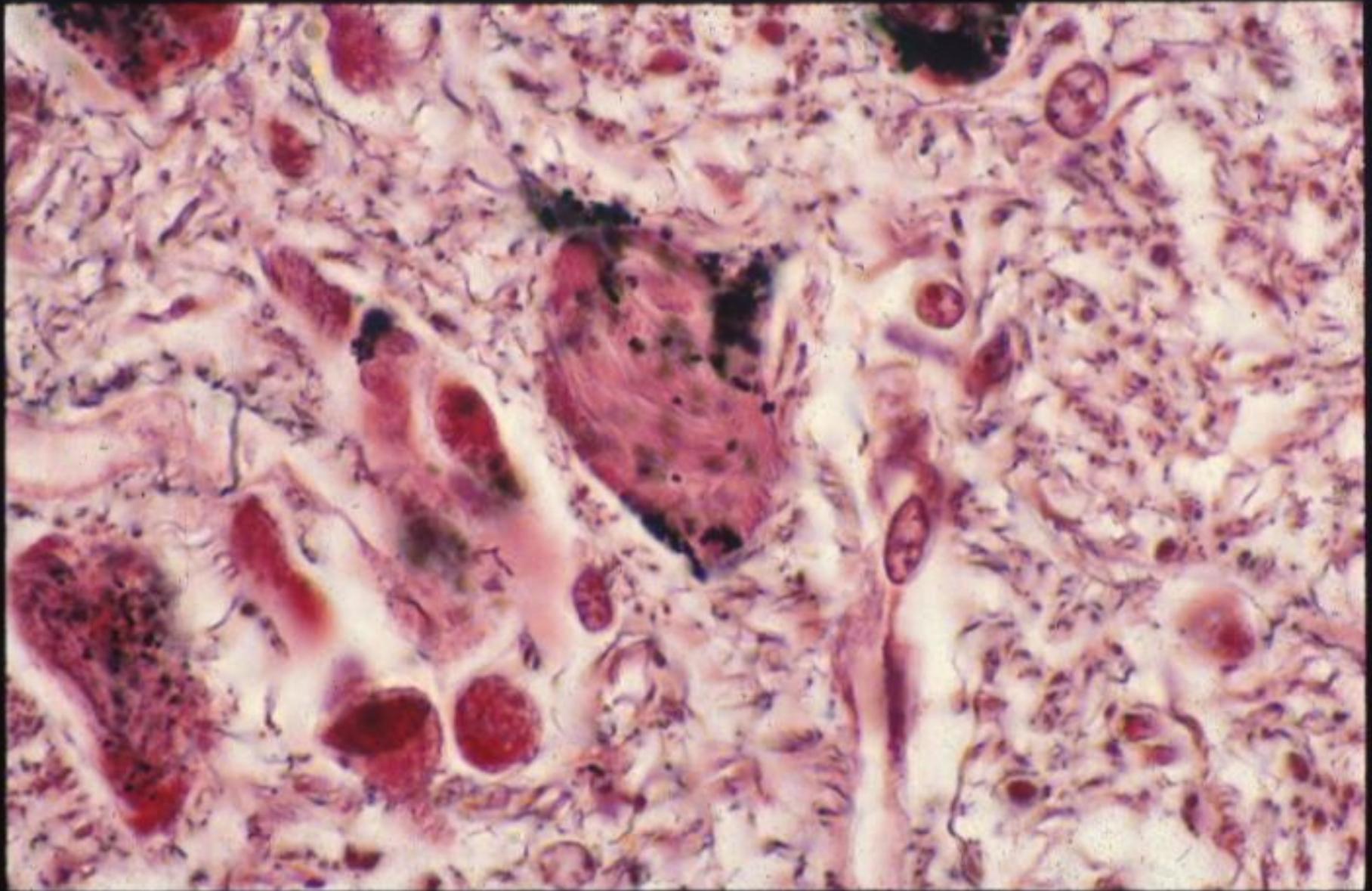
2, 認知症

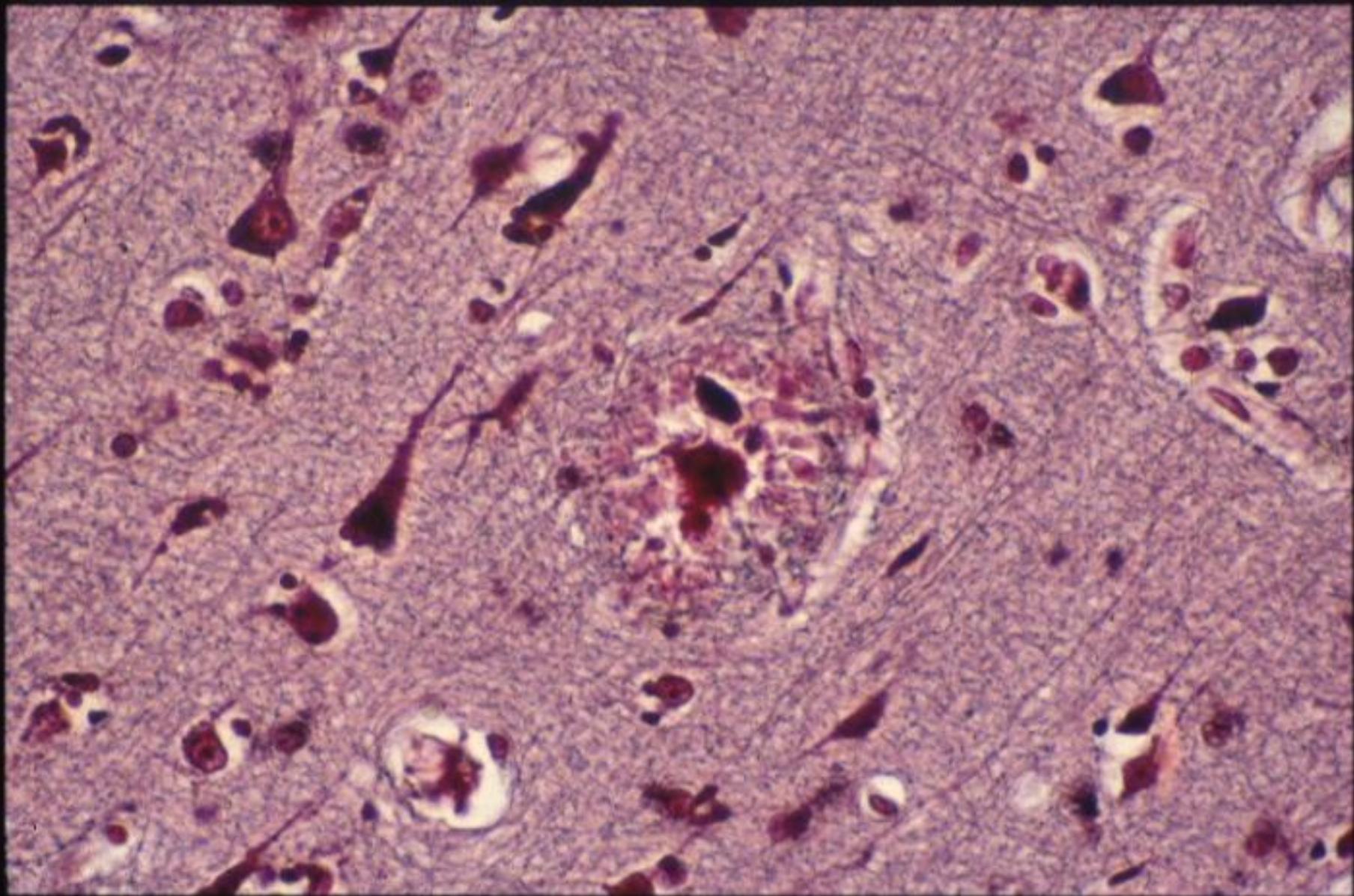
Dementia

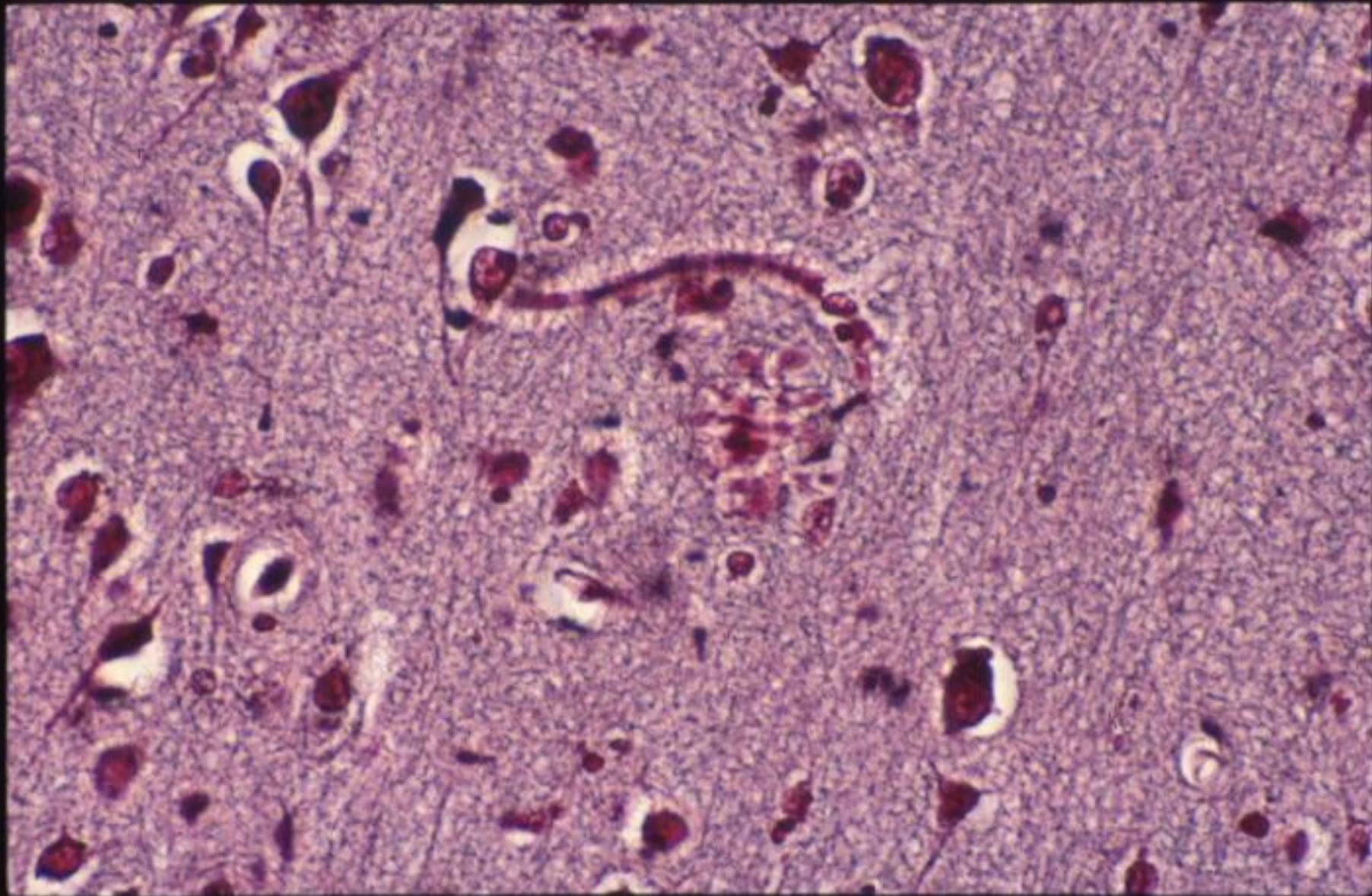
認知症の疾患別頻度

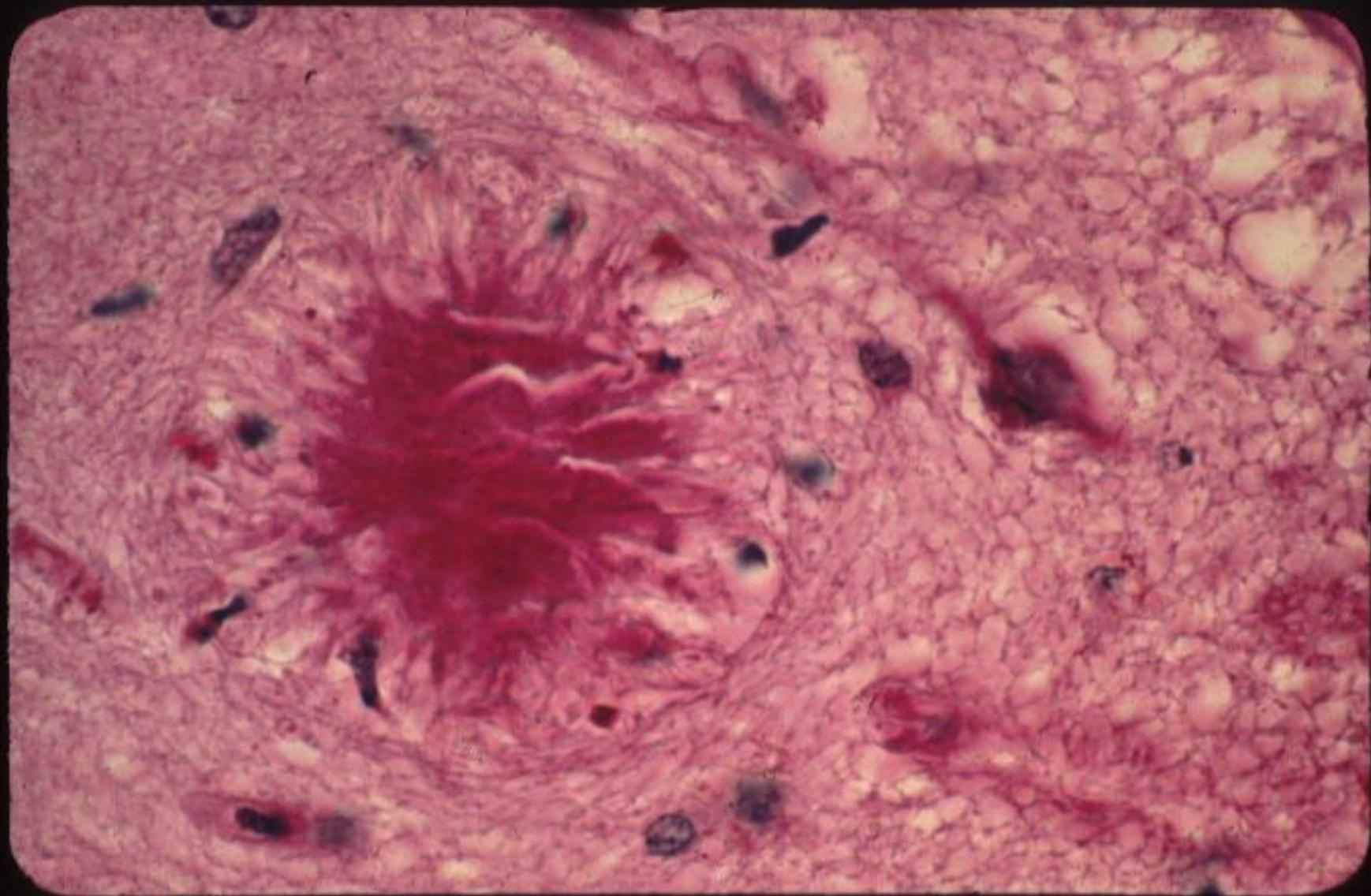












Alzheimer病の特徴的症狀

1. 反復 iteration
2. 反響言語 echolalia
3. 語間代 logoclonia
4. 鏡症狀 mirror sign



呼称

3時 → ○

9時 → ○

12時 → ○

11時 → 12時5分前

7時10分 → 2時35分

10時10分 → 2時50分



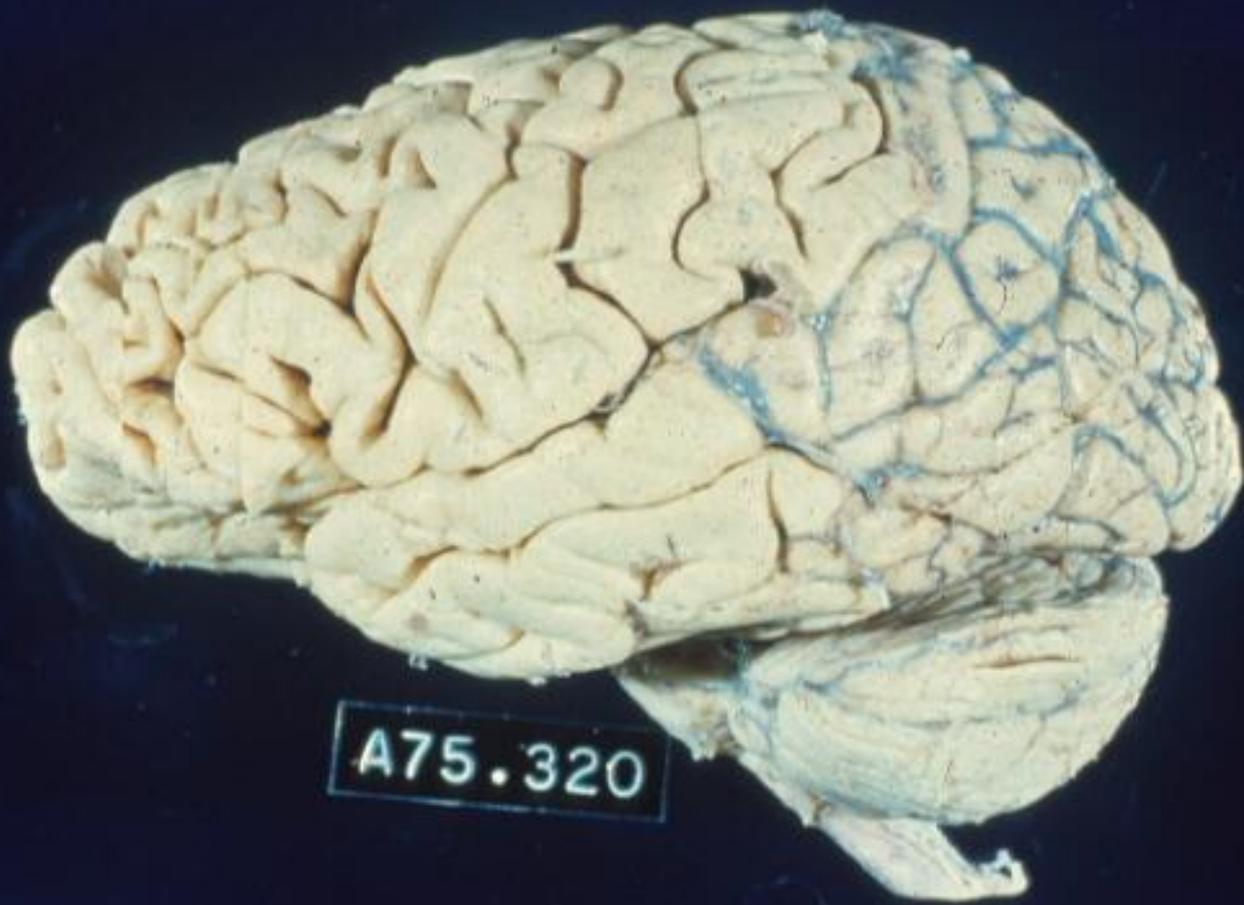
模写

自绘

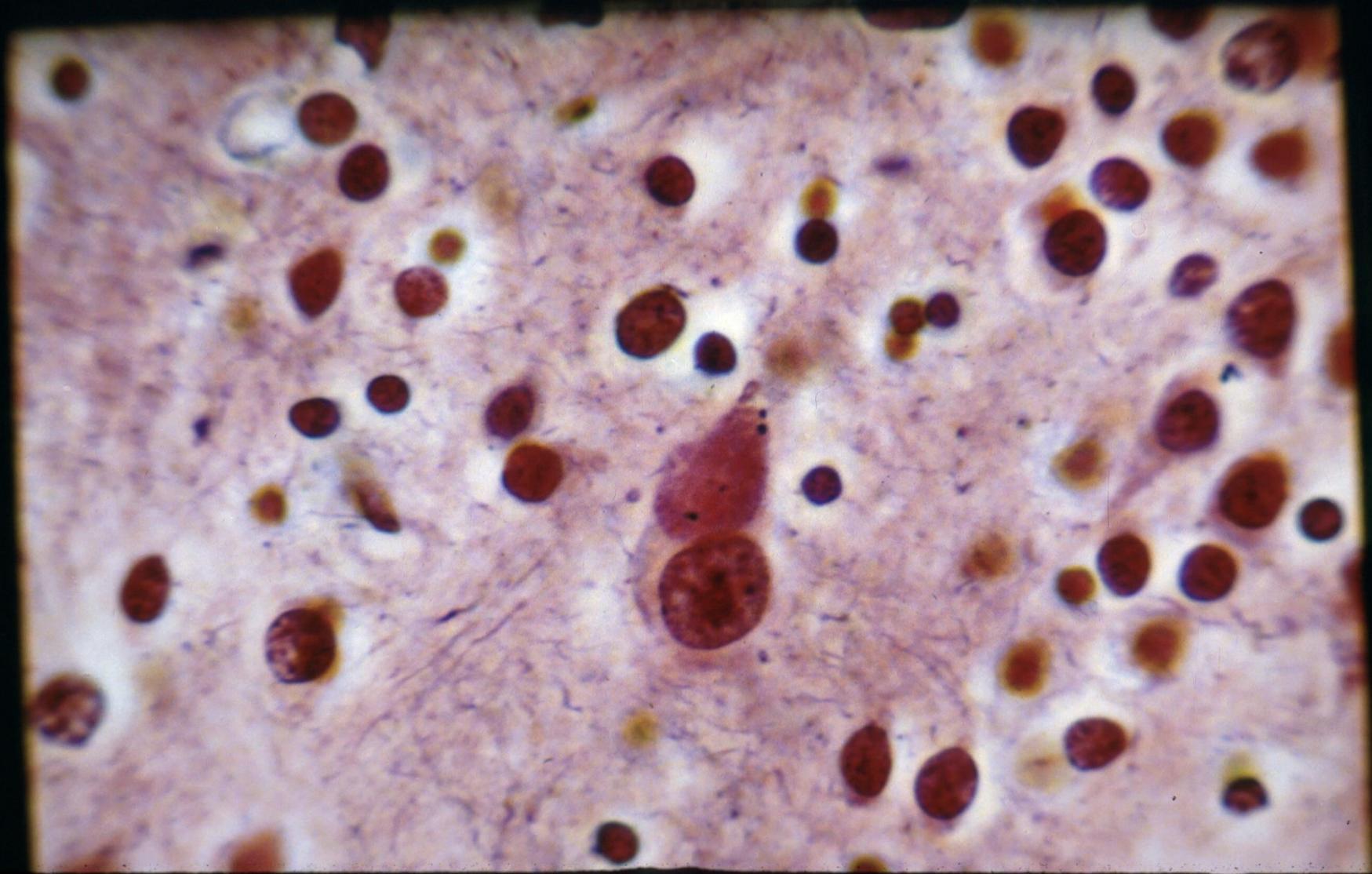


模写

Y.Y



A75.320



前頭側頭型認知症

ピック病

TDP-43蛋白がたまるタイプ
筋萎縮性側作硬化症に合併したもの
など

前頭側頭型認知症の症状

特徴的な症状として

1. 身だしなみが無頓着
2. 感情鈍麻、自発性欠如
3. 抑制が欠如し、万引き、暴力
4. こだわり症状として、同じことを言い続ける、同じ動作（常同行為）、同じ食べ物、同じ道順
5. 初期には記憶障害は目立たない

滯続症状

Stehende Symtome

言葉の反復や行動の反復

6月20日 月曜日

この日は八ヶ岳の白馬に在りて

行状を述べる事な 高橋に在りて

この日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

この日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

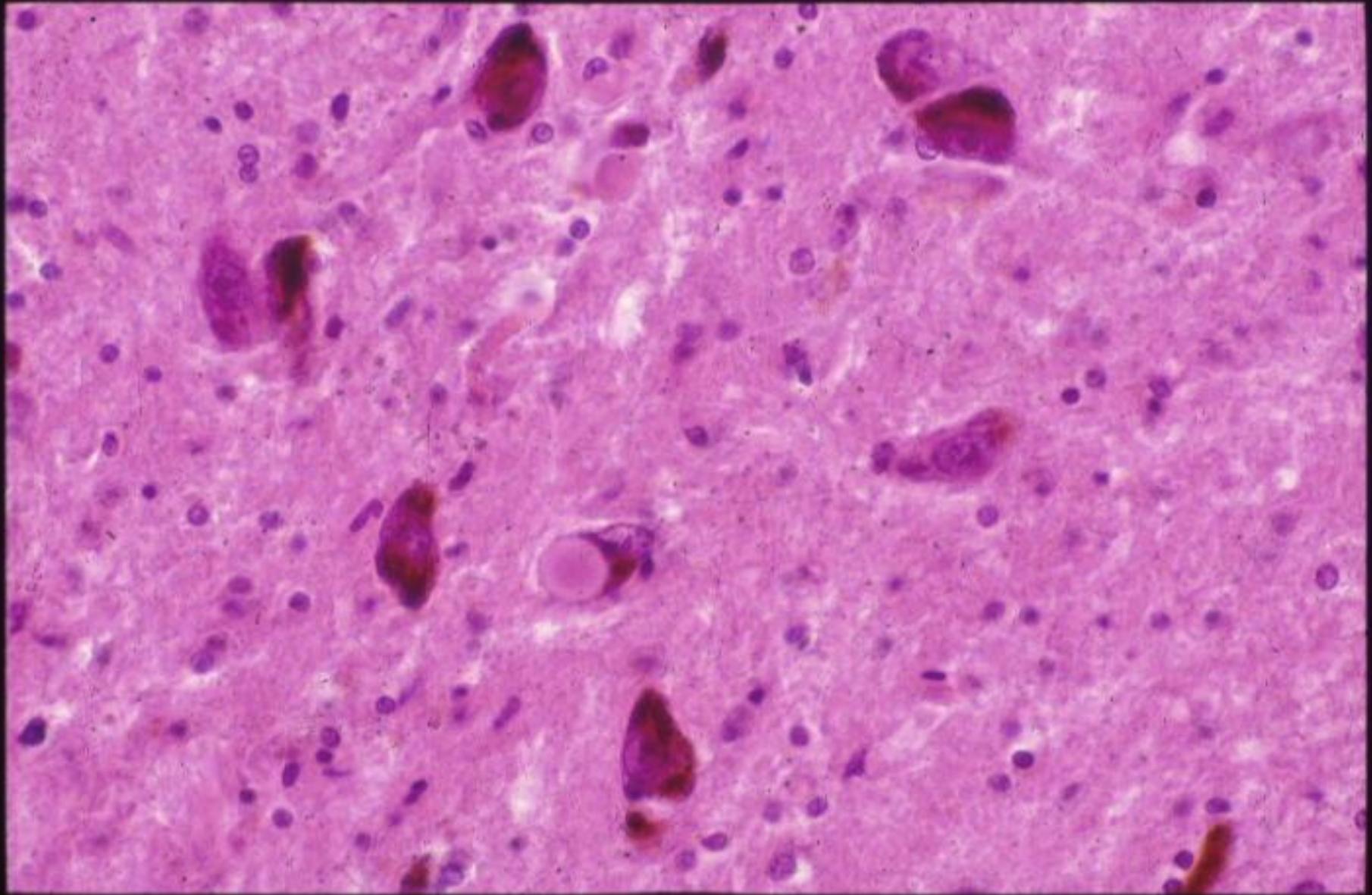
高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

高橋に在りて此の日は八ヶ岳の白馬に在りて

前頭葉が抑制しているもの

1. 後頭葉
各種感覚に対して自我(自己存在)による
抑制 VS 被影響性
2. 基底核
反復常同などを抑制 VS 滯続症状
3. 辺縁系
情緒の抑制 VS 不穏興奮、情動行為



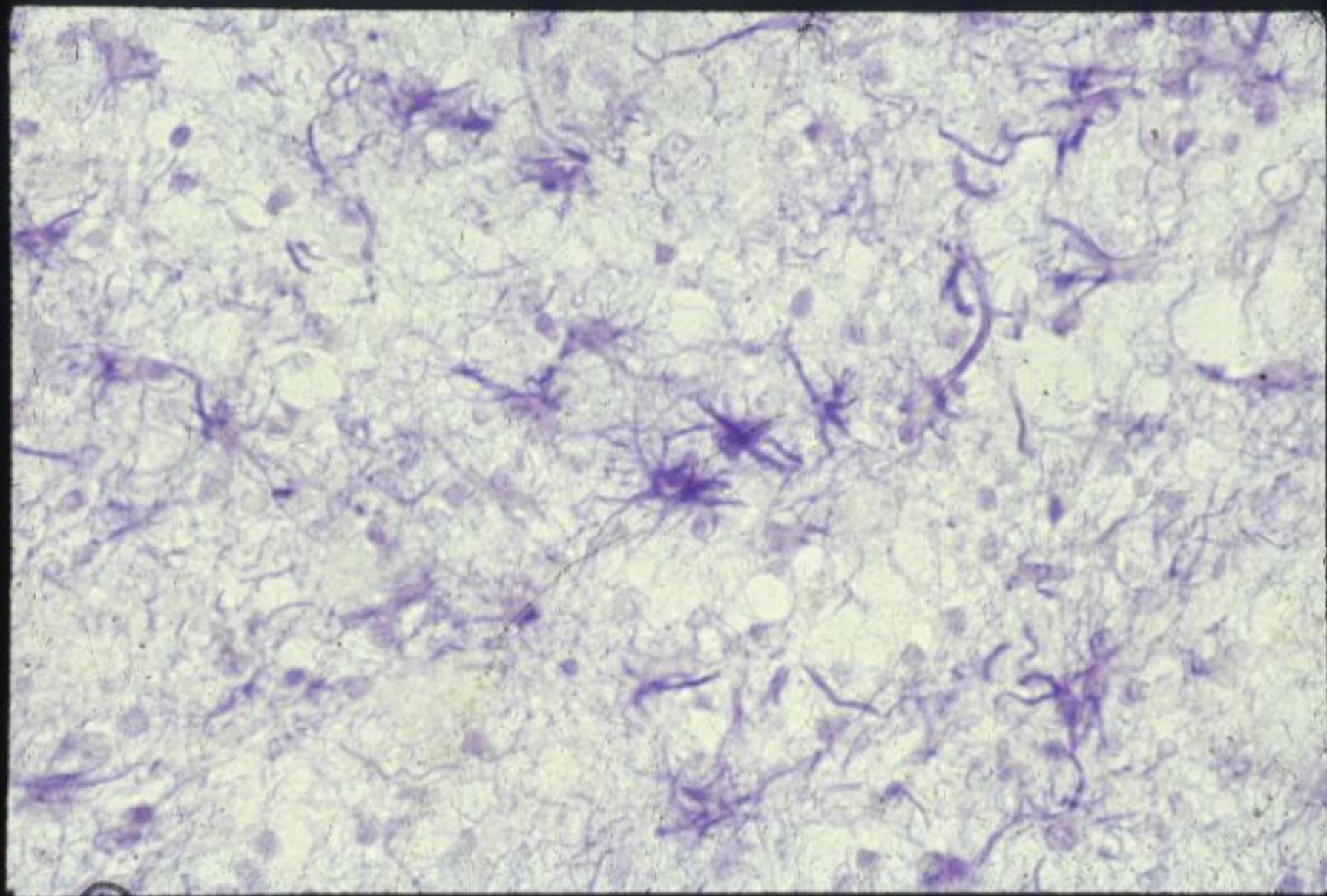


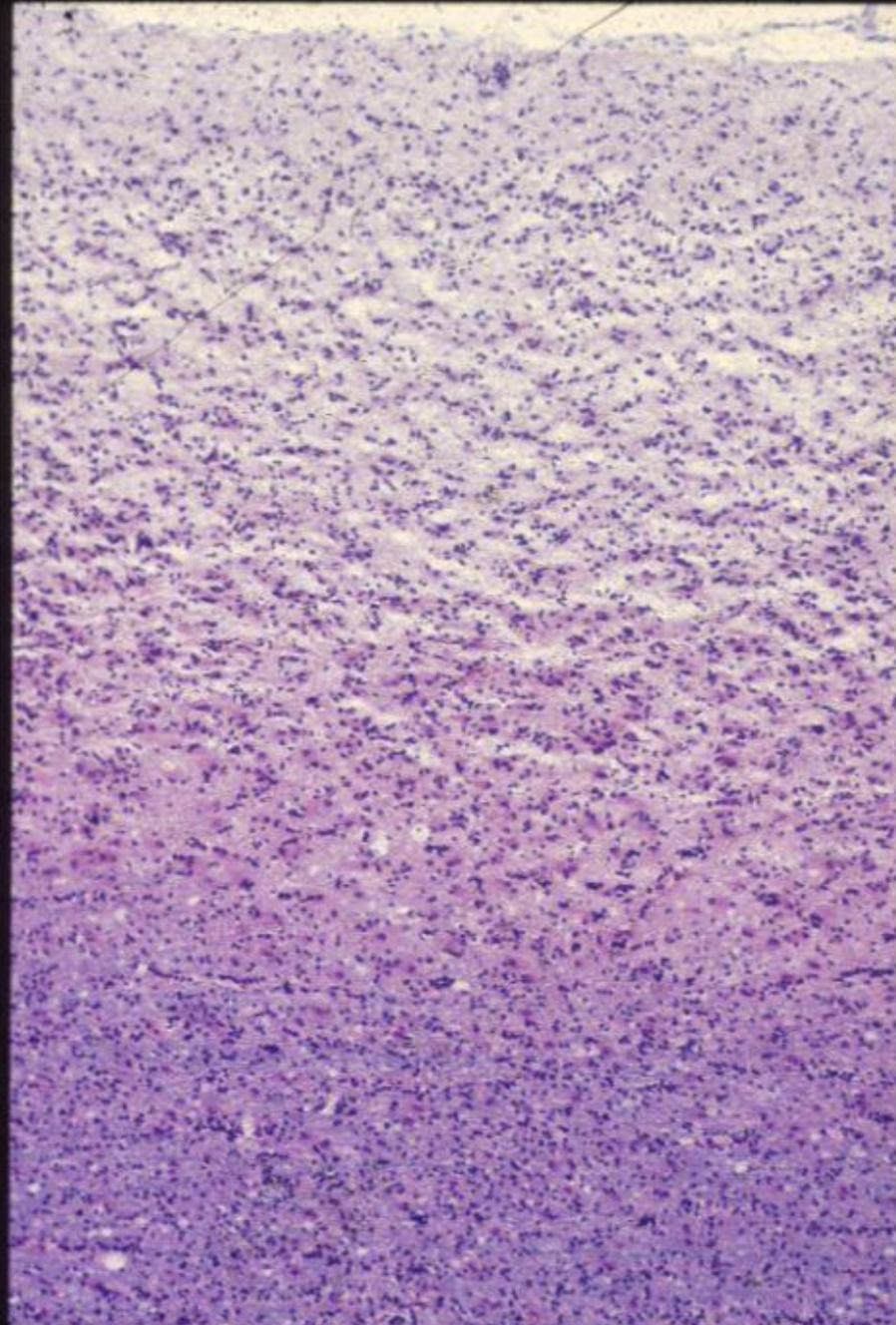
レビー小体型認知症の診断基準(DLBガイドライン)

1. 正常な社会的または職業的機能に障害をきたす程度の進行性認知機能障害の存在。初期には記憶障害が目立たないこともある。また、注意や前頭皮質機能や視空間機能の障害がとくに目立つこともある。
2. 次の特徴がある(probable DLBには2つが、possible DLBには1つが必要)
 - (a) 注意や明晰さの著明な変化を伴う認知機能の変動
 - (b) 構築され、具体的な内容の繰り返される幻視体験
 - (c) 特発性のパーキンソニズム
3. DLBを支持する特徴
 - (a) 繰り返す転倒
 - (b) 失神
 - (c) 一過性の意識障害
 - (d) 抗精神病薬への過敏性
 - (e) 系統的な妄想
 - (f) 他の幻覚
4. 可能性の少ないもの
 - (a) 局所性神経徴候や画像で裏付けられる卒中の存在
 - (b) 臨床像を説明しうる身体疾患や他の脳病変の証拠の存在

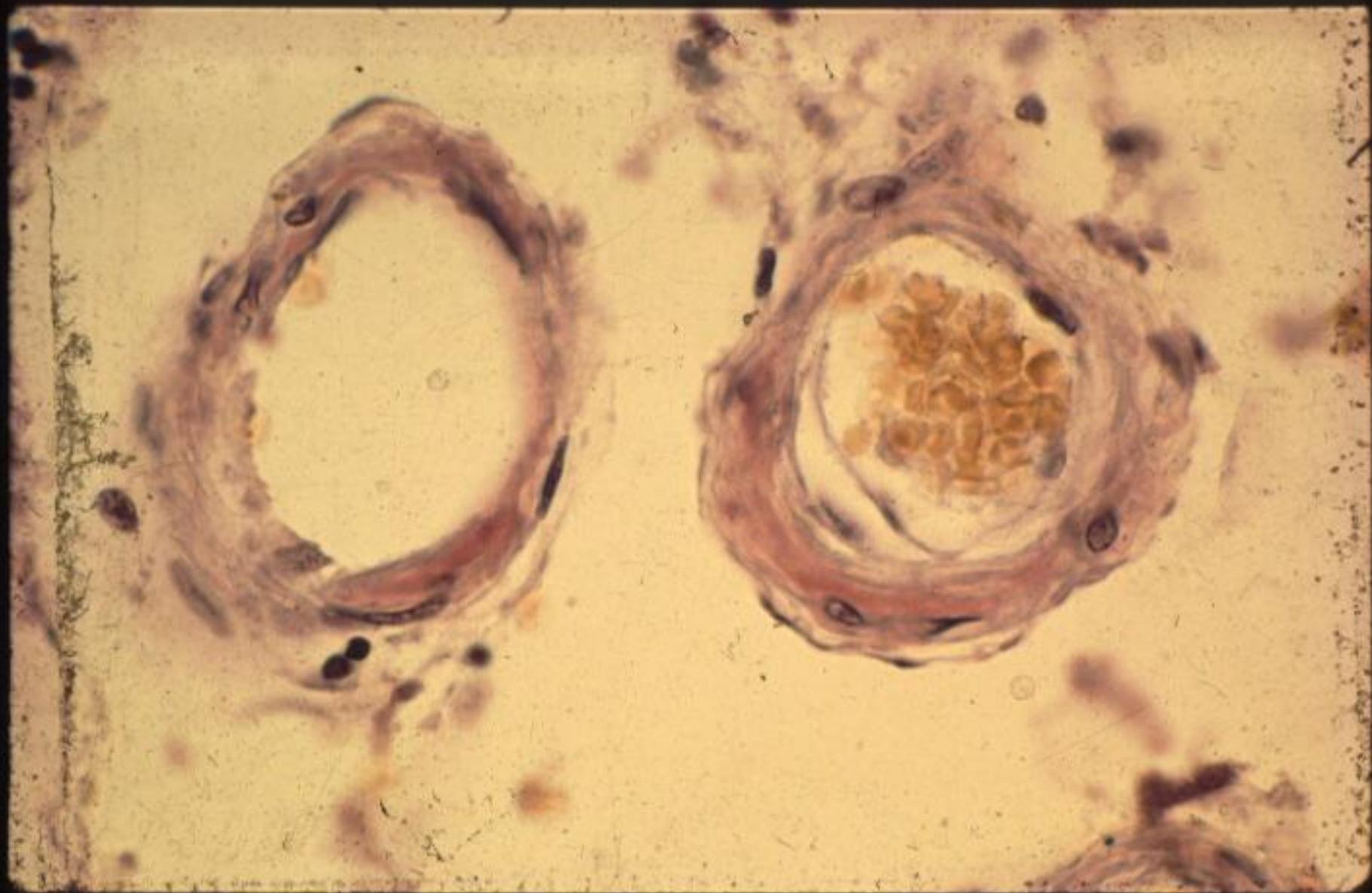


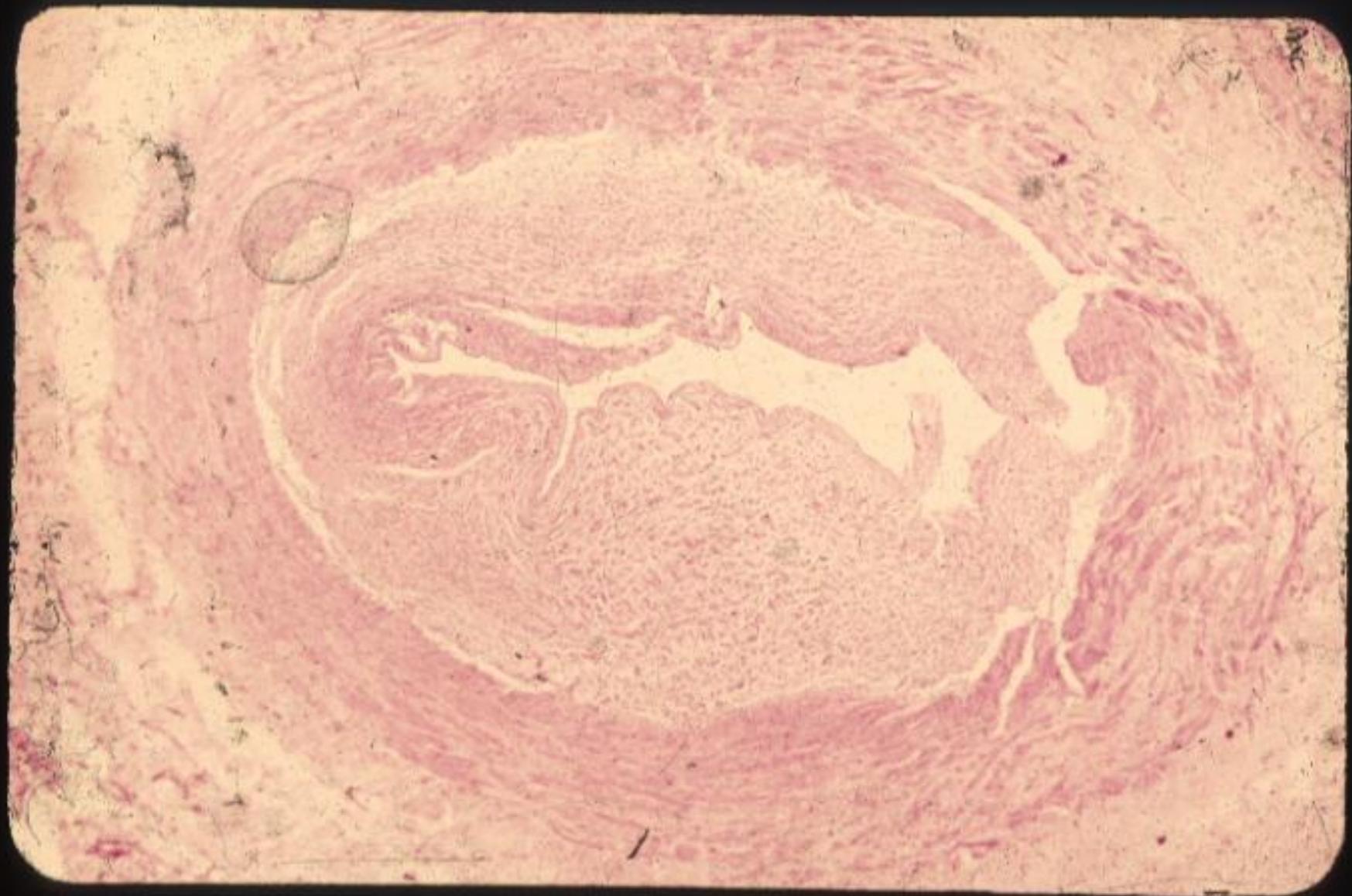
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
No. 017

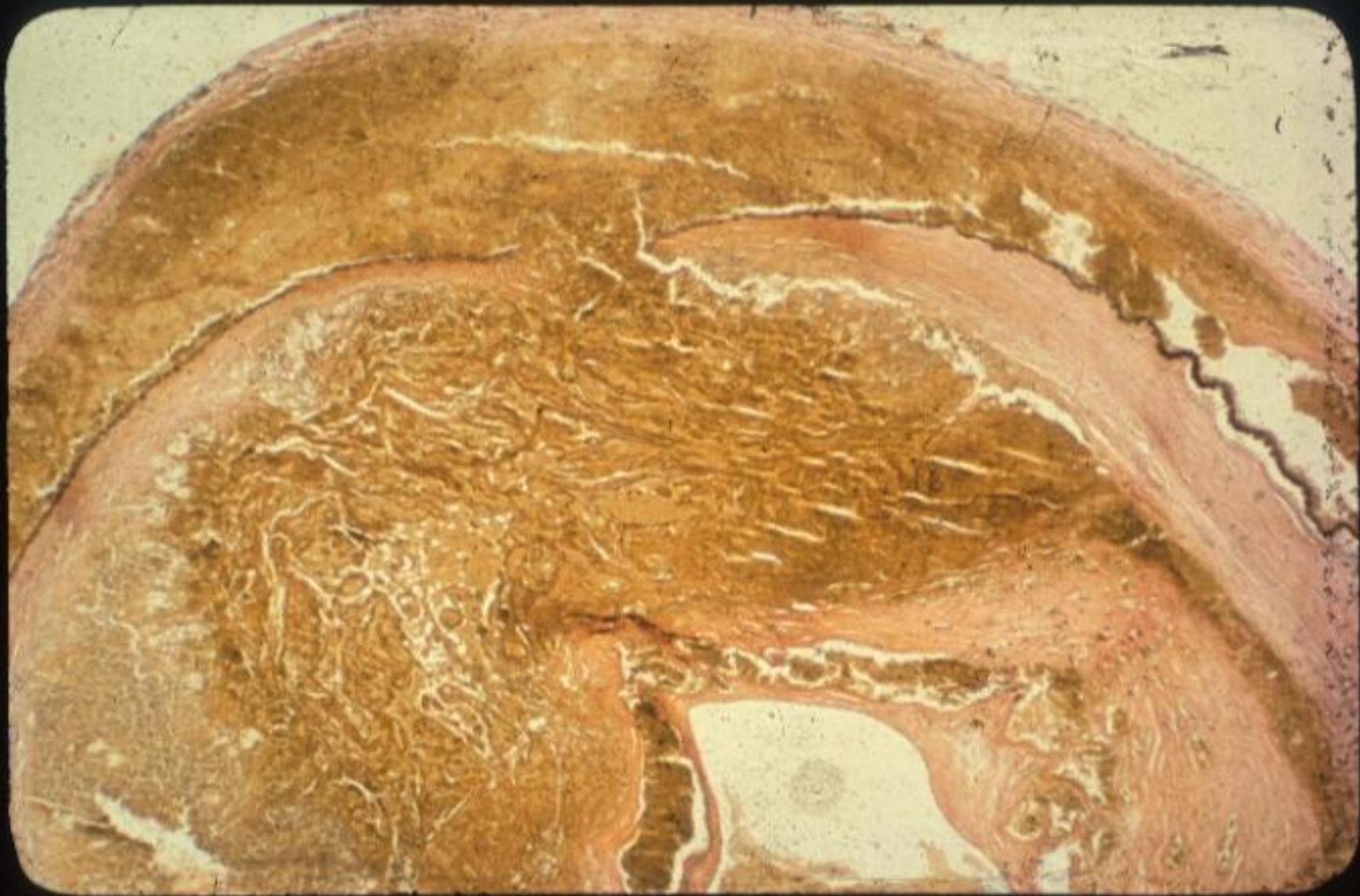












L

R



NO.338

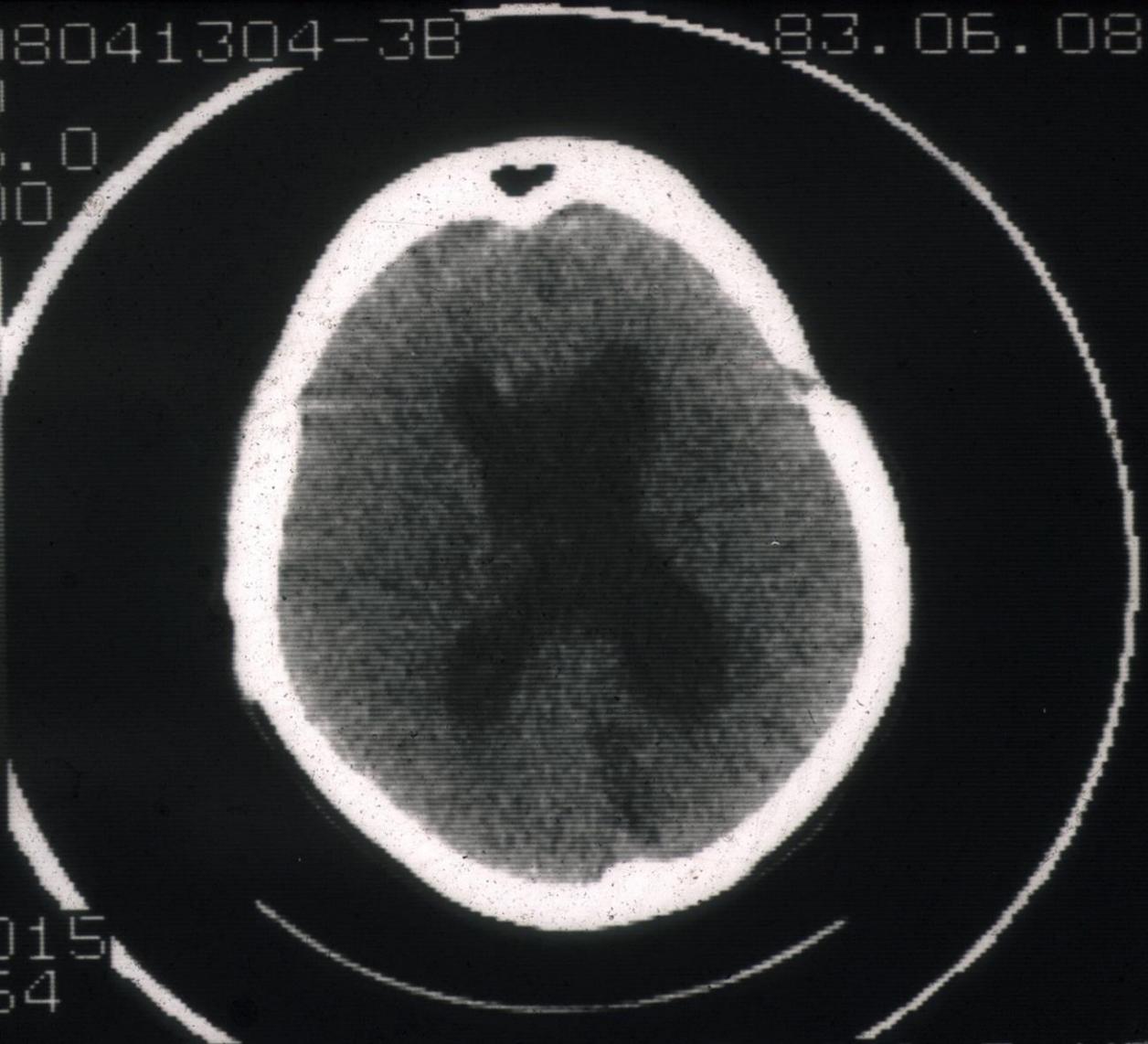
008041304-38

83.06.08

10

06.0

+00



+015

064

||||| FUKUI P HP

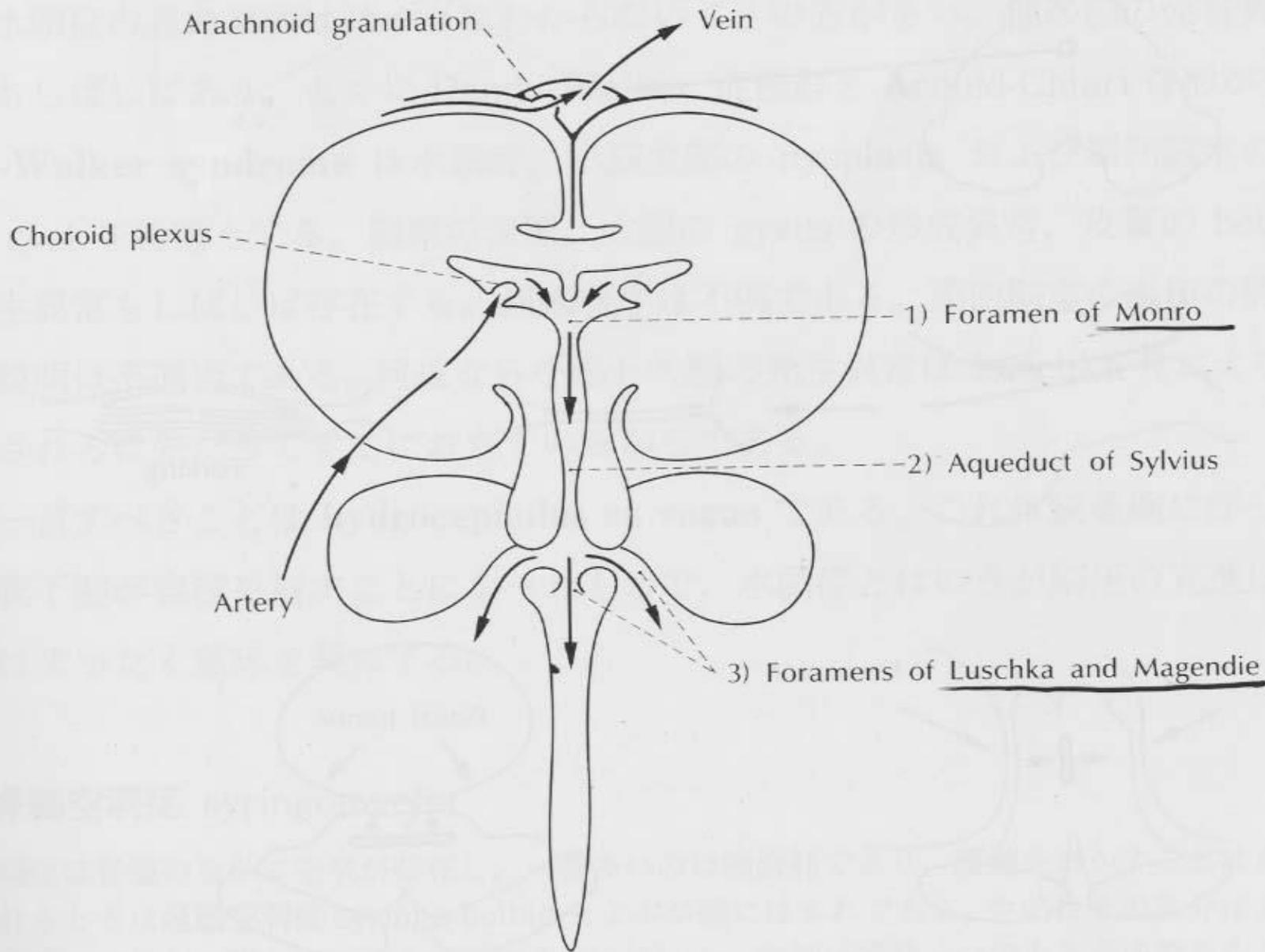
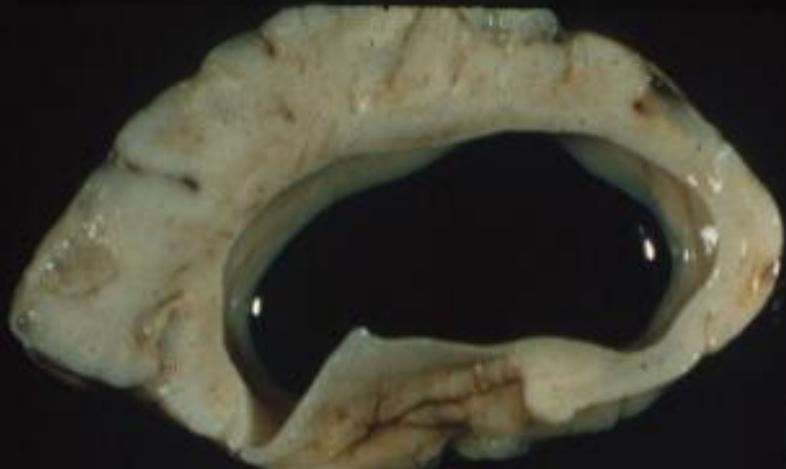


圖 258 水頭症



若年性認知症の分類

1. 原因不明

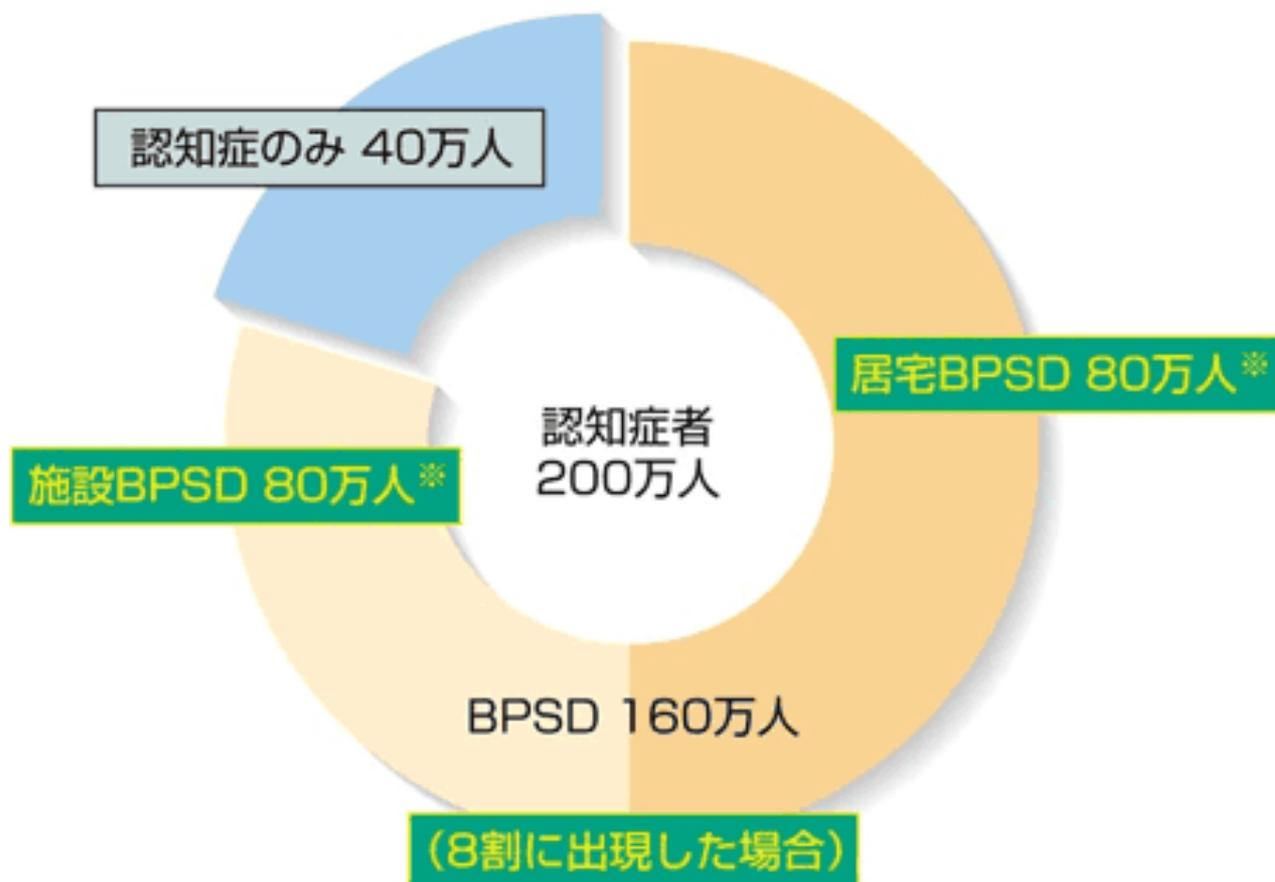
アルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症(ピック病)、レビー小体病

2. 予防可能な認知症

脳血管性認知症、アルコール性認知症、感染性認知症(HIV, クロイツフェルト・ヤコブ, 梅毒)、頭部外傷性認知症(ボクシング含む)、低酸素脳症、一酸化炭素中毒、腫瘍性

18歳から64歳までに発症した認知症、国内に10万人いるともいわれている。

BPSDの現状



- 毎年10万人発症？
(8万人死亡：65歳以上死亡者80万人/年)

※ 介護保険における要介護認定者の推計値より
(2002年9月末) 比率を得て推計した

よくみられる認知症のBPSD

- 活動的な障害
焦燥、不穏
多動、
不適切な活動
認知的無為

行動症状

- 攻撃性（身体的、言語的）
- 食欲・摂食障害
- 既日リズム障害（睡眠・覚醒）
- 社会的に不適切な行動



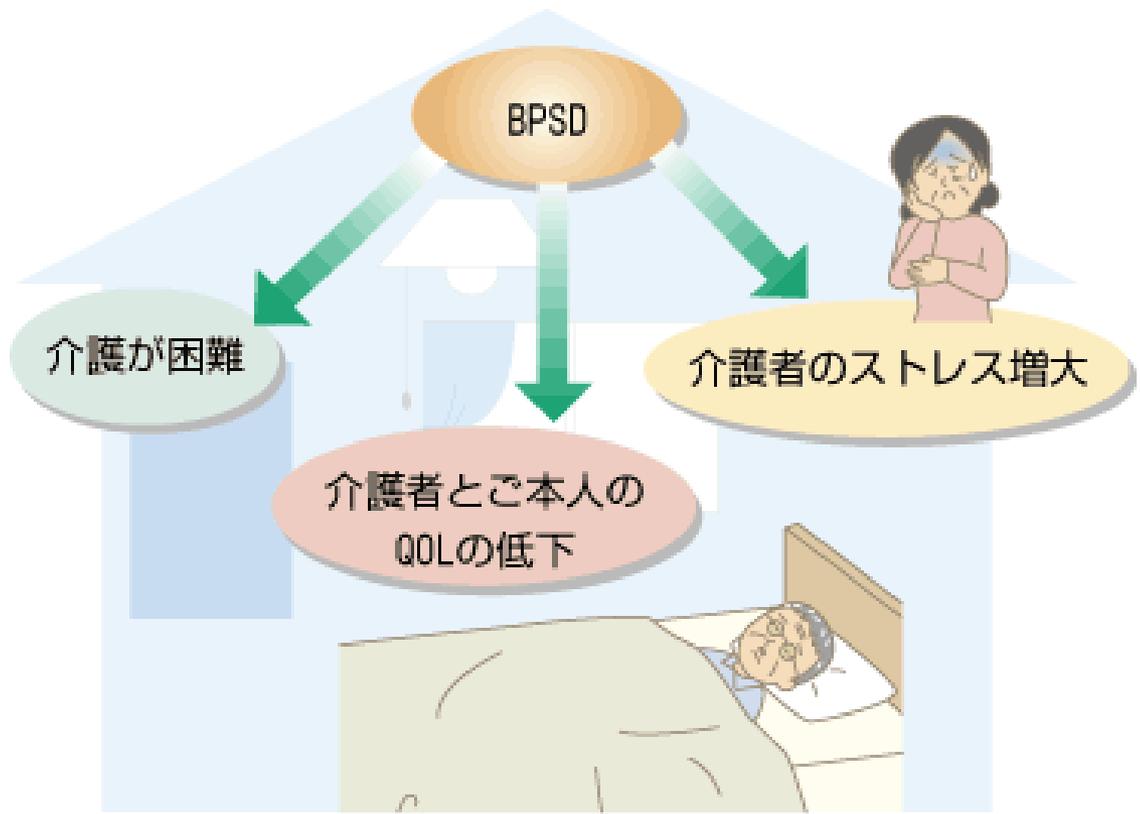
- 感情の障害
不安
易刺激性
抑うつ症状
大うつ病
情緒不安定

精神症状

- アバシー
- 妄想
- 誤認性障害
- 幻覚

アバシー：情熱、情緒、興奮にかけること。感情や興味に訴えても無関心なこと。

BPSD で介護者のご本人の QOL が低下



困った症状の成因

←心がそうさせる症状

脳障害がそうさせる症状→

性的逸脱行為

意欲低下、過眠

せん妄

不眠、昼夜逆転

過食

幻覚、錯覚

盗られ妄想

強迫症状

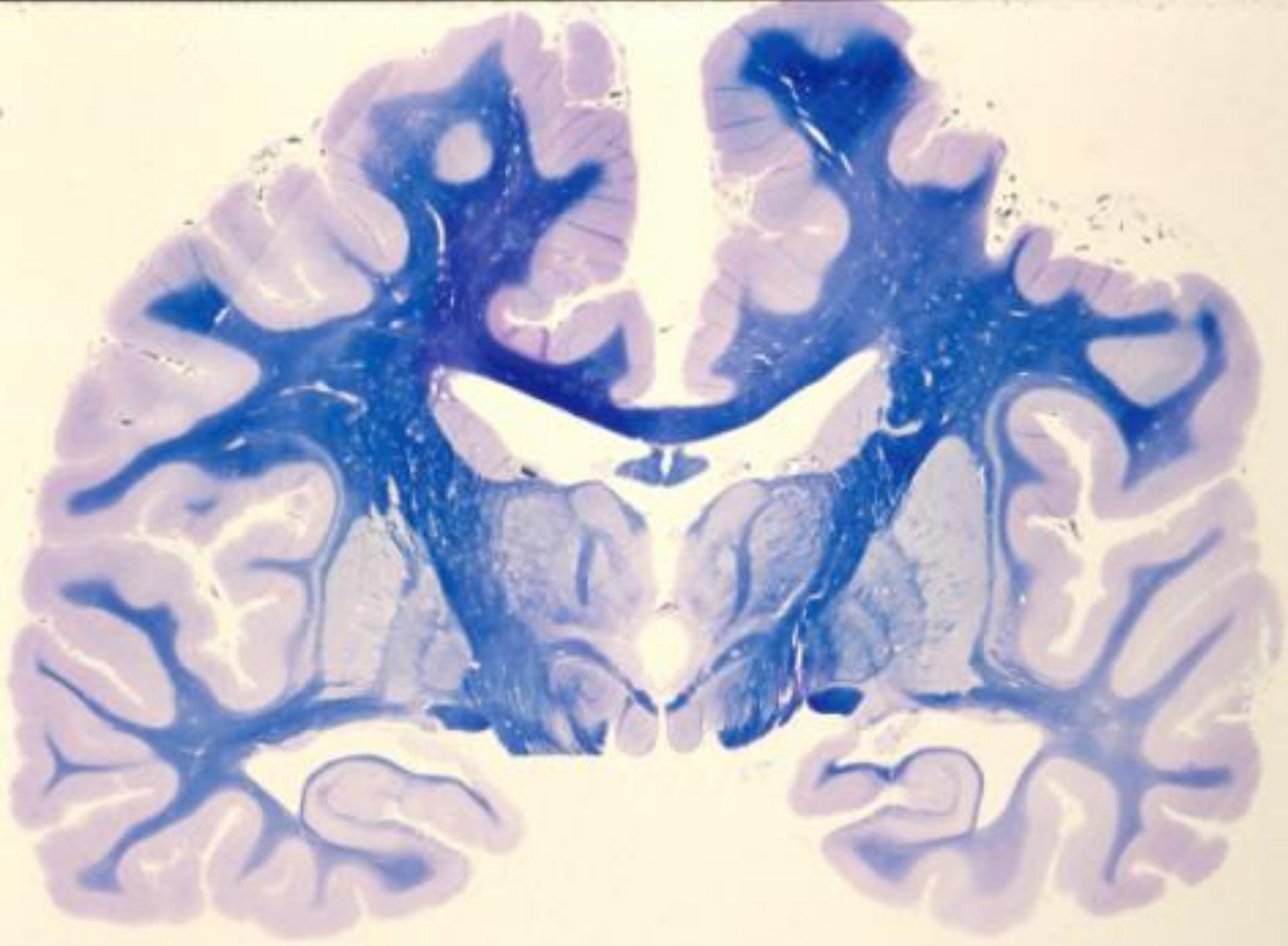
うつ状態

不穏興奮、易怒性

不安焦燥

3, 記憶障害

Memory disturbance



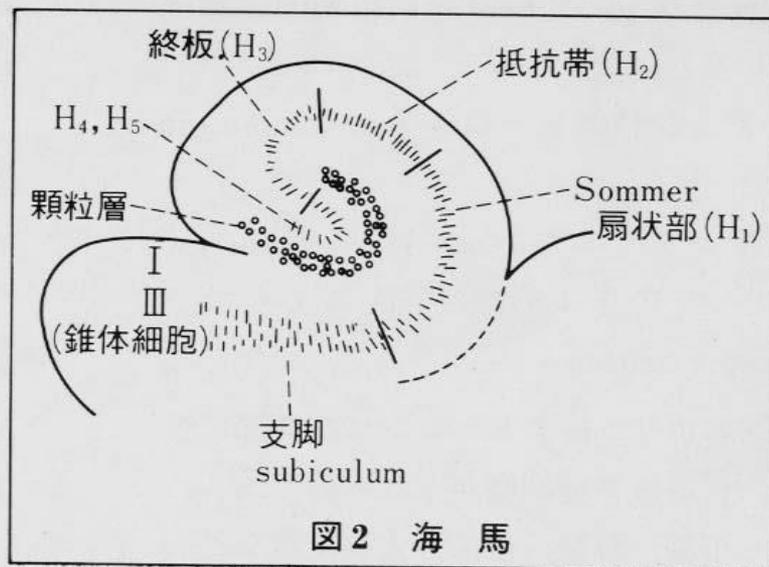
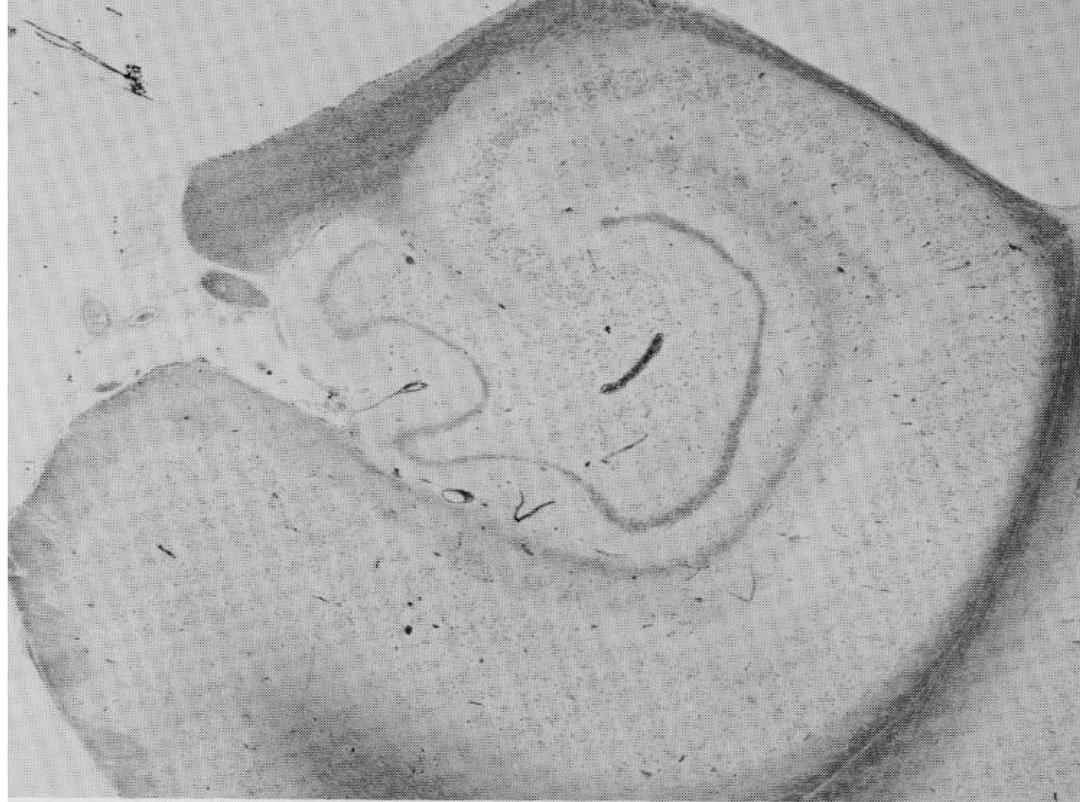


圖2 海馬

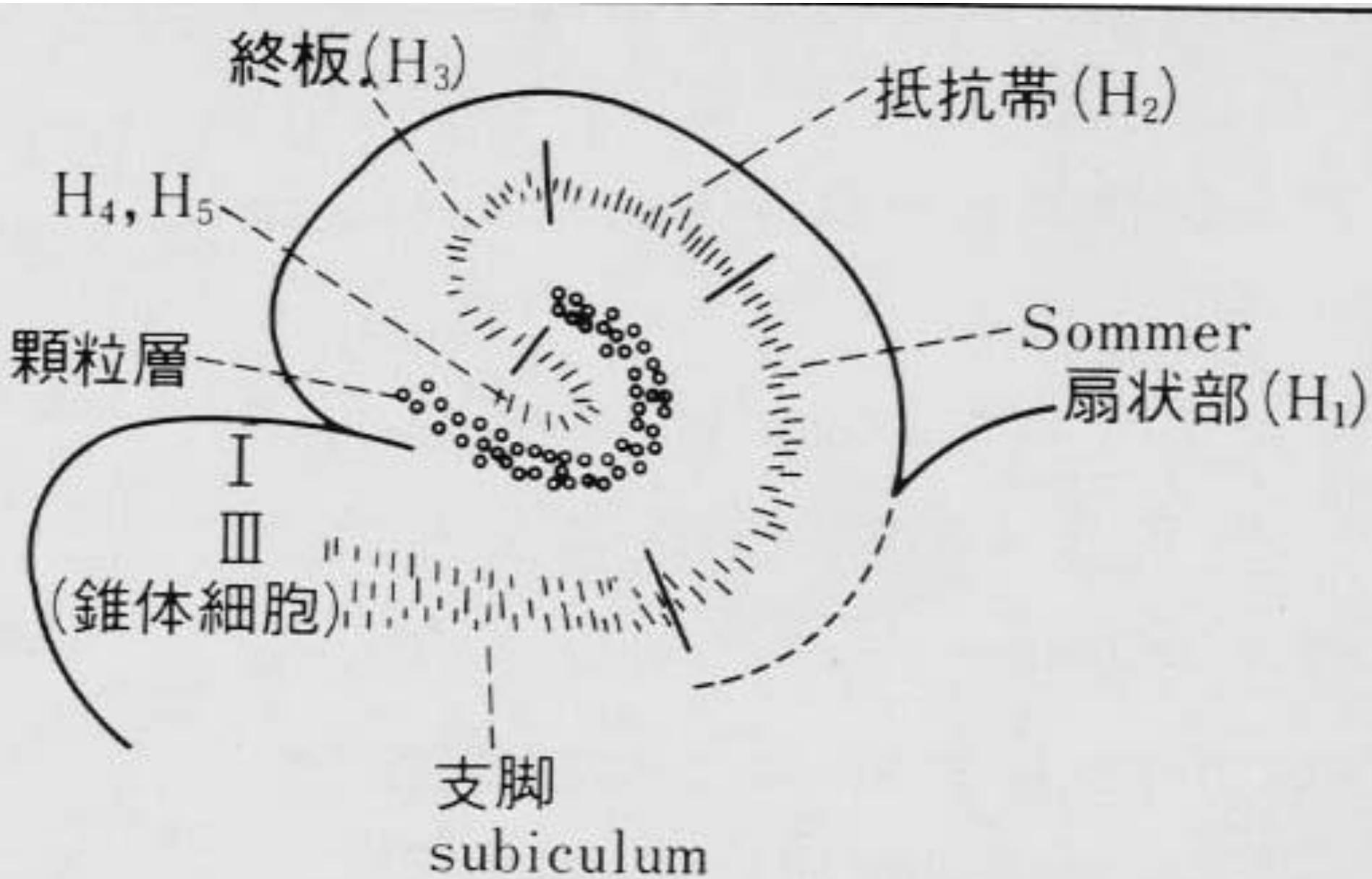
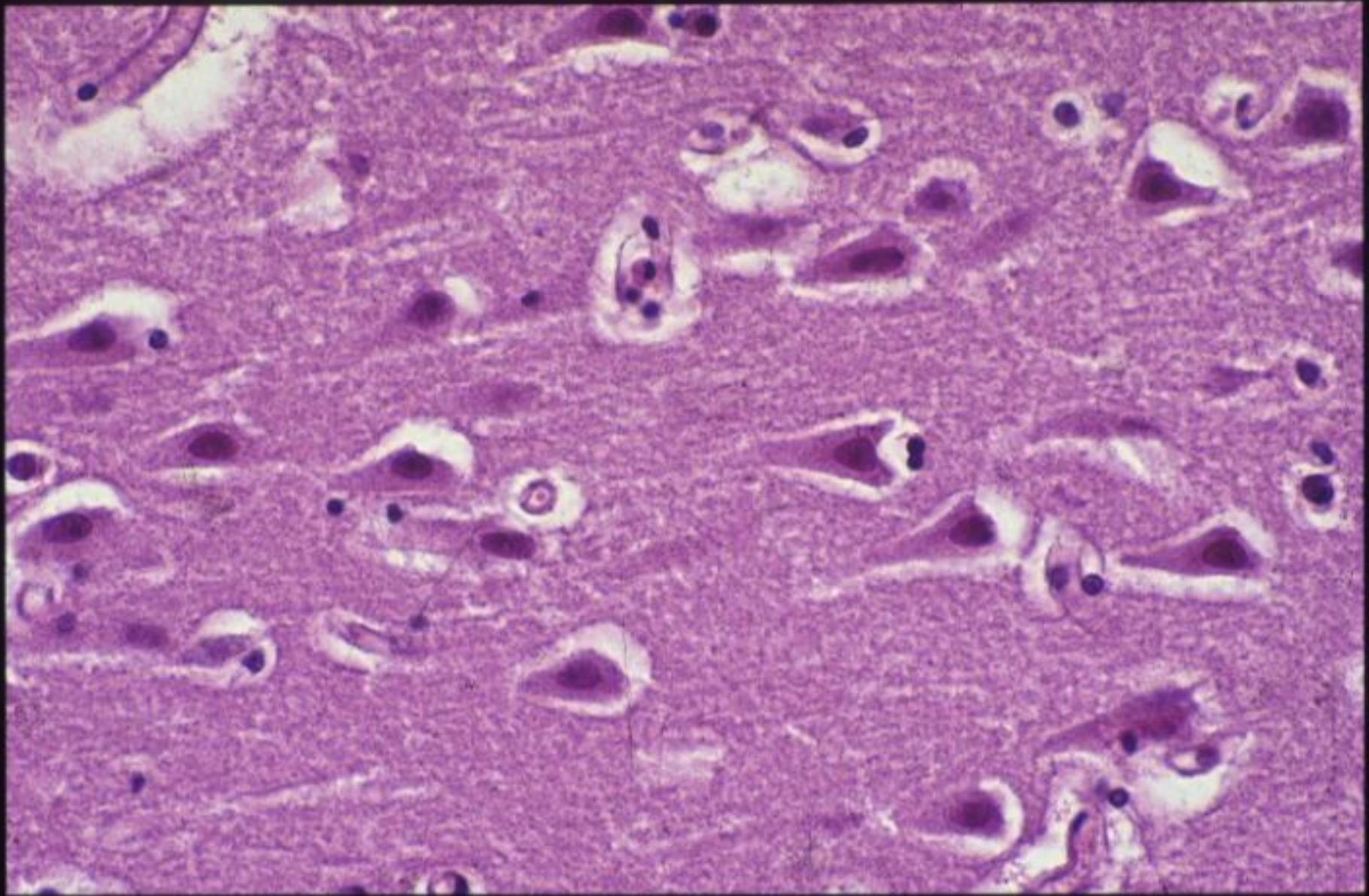
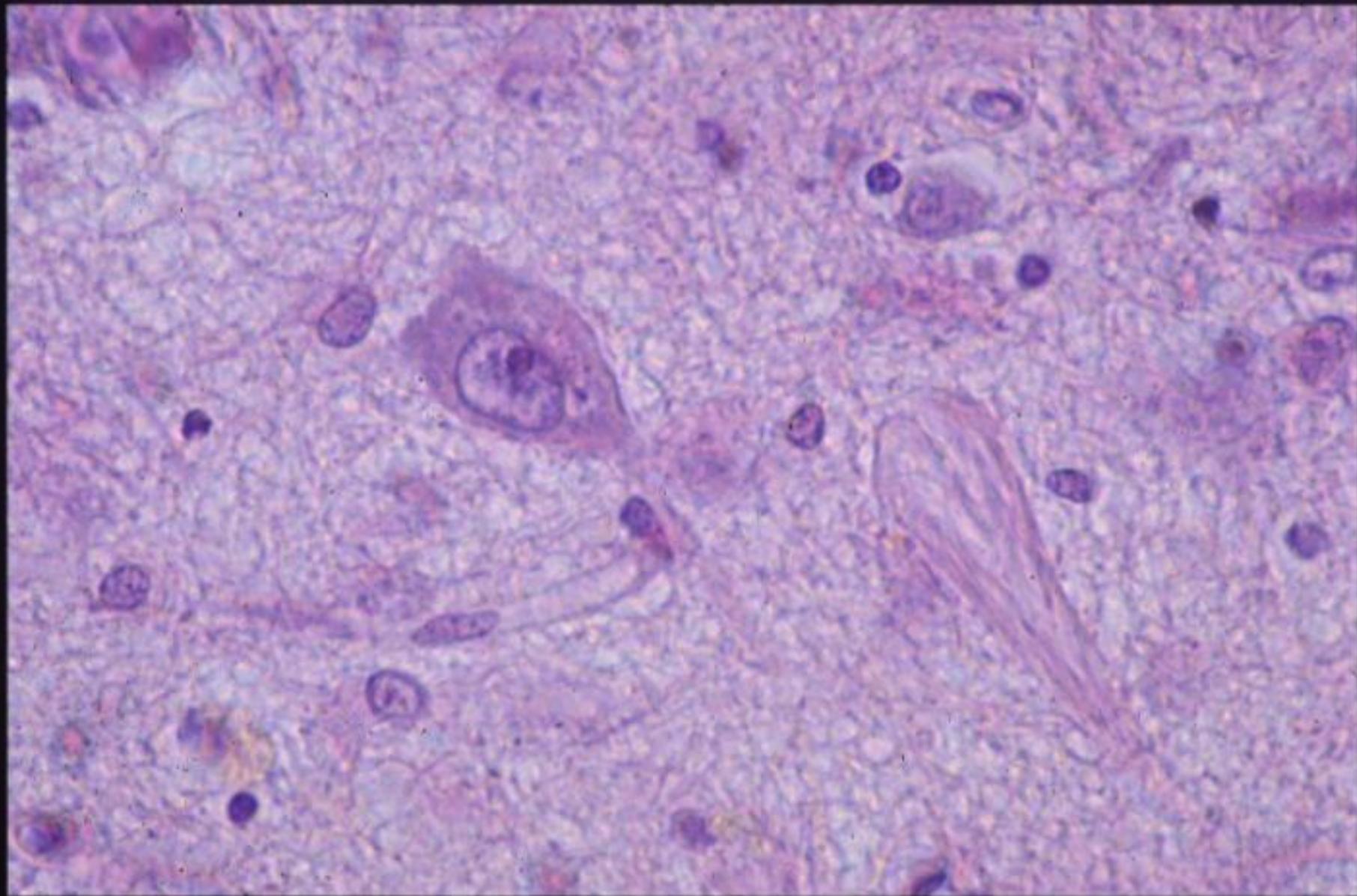


圖2 海馬





健忘症候群(コルサコフ症候群)

Amnestic syndrome (Korsakoff)

記銘力減弱

失見当識

作話

一過性全健忘

transient global amnesia (TIA)

突発的に健忘(記憶喪失)が生じる

発作中は明らかな前向性健忘を認める

24時間以内に回復する

原因として transient ischemic attack (TIA)、
やてんかん、外傷などが多い

5.2/10万人の発生頻度

(Hodges 1990)

4, 腦局在症狀

Focal syndrome

失外套症候群

Apallisches Syndrom

大脳外套（皮質）の広汎な障害

昼は眼を開け、夜は眠る

眼球は固定または不規則運動

原始反射（把握反射、吸いつき反射）

VS 昏睡

無動性無言

Akinetic mutism (H.Cairns et al)

間脳、中脳の軟化や腫瘍
眼球運動以外の運動が全くない
ものを動かすと視線で追う

Klüver-Bucy syndrome

1. 精神盲類似症状
2. Oral tendency
3. Hypermetamorphosis
4. 情動に結びついた行動の減少
5. 性行動の亢進
6. 食習慣の変化

猿の両側側頭葉切除(海馬、扁桃核含む)



19-5



右





その他

アルコールとOBS

1. 酩酊
2. 振戦せん妄
3. コルサコフ症候群
4. 離脱症候群 withdrawal syndrome
5. ウエルニツケ脳症
Wernicke's encephalopathy
6. その他 アルコールてんかん
アルコール認知症
アルコール幻覚症、嫉妬妄想

公益財団法人 松原病院

松原六郎

